

令和2年度（2020年度）

学習のてびき

（通信制課程）



島根県立浜田高等学校

〒697-8789 島根県浜田市黒川町3749

T E L (0855) 22-0187

F A X (0855) 22-2549

※浜田高校通信制課程で学ぶ際の手続きなど、重要事項を掲載しています。

島根県立浜田高等学校 校歌

作詞 木島俊太郎
作曲 團伊玖磨

一、豊栄昇る朝日に映えて

石見の海にたぎる潮

青春の意気今高らかに

若きをのこよたくましく

狂瀾碎く力もて

進めよ共にたじろがず

二、夕月匂う浜田川

やさしさ情操ここに育つ

青春の夢今美しく

若きをみなよひとすぢに

正義と愛の理想追ひ

磨けよ珠と此の精神

三、緑ほほえむ三階山

春秋三とせ仰ぐわれら

青春の眉今清らかに

若きいのちよ肅然と

真理の前につつましく

学べよ深く明らかに

はじめに

【通信制課程のみなさんへ】

通信制課程のみなさんに「学習のてびき」をお届けします。これは浜田高校通信制課程で学ぶための案内書です。このてびきを丁寧に読んで、通信制課程の生徒として、しっかり学習を進めてください。

通信制課程は自学自習が基本です。登校して直接指導を受ける機会が少ないため、計画的かつ効果的に学習を進めるには、この「学習のてびき」の内容を十分に理解しておくことが大切です。このてびきを活用し、学習や諸手続に間違いや遅れのないようにしてください。

学習を進めるためには、強い意志とたゆまぬ努力が必要です。中途半端な気持ちで始めたのでは、最後までやり遂げられるものではありません。このことを肝に銘じて取り組んでください。最後まで学習を継続し、卒業を迎えたときには、まさしく「本物の力」を自ら勝ち得たと実感できるでしょう。

通信制課程で高校の学習を始めようとした動機や目的は人により様々だと思いますが、初志貫徹し、無事に卒業の日を迎えられることを願っています。

目 次

1. 年間行事予定	1・2
2. 教育課程表	3
3. 開講講座一覧表	4
4. 入学から卒業まで	5
5. スクーリング登校時の流れ	6
6. 学習の進め方	7
7. スクーリング(面接指導)	8・9
8. レポート	9~11
9. 試 験	11・12
10. 放送視聴学習	13~16
11. 特別活動(特活)	17
12. 単位の認定	18
13. 通信制課程以外での学修の成果	19・20
14. 受講手続き	21
15. 卒業の条件	21
16. 在籍年数	21
17. 図書学習室の利用	22
18. 進路指導室の利用	22
19. 保健室の利用	22
20. スクールカウンセラー等への相談について	22
21. 生徒心得	23
22. 通学方法(通学に関する規定)	23
23. 生徒の特典	24
24. 事務手続き	25・26
25. 学校感染症による出席停止	27
26. 独立行政法人日本スポーツ振興センター「災害共済給付制度」	27
27. 携帯メールによる連絡網登録のお願い	28
28. ホームページについて	28
29. 資料	
・各講座ごとの学習内容と目標(前期)	29~45
・各講座ごとの学習内容と目標(後期)	46~62
・総合的な探究の時間の学習内容と目標	63
・令和2年度 浜田高校通信制「特別活動」年間計画	64・65
・学校行事の内容	66~68
・令和2年度 レポートしめきり日一覧	69
・令和2年度 レポート配付・郵送日	70
・前期スクーリング計画/後期スクーリング計画	71・72
・学習進捗状況表	73
・通信制の学習および生活 Q&A	74~77
・スクーリング時程表/校舎配置図/通行経路	78~80
・通信制の1年(イベントカレンダー)	81

1. 年間行事予定

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
					在校生受講手続き								新入生一日入学						通信制入学式	←進研記述模試(3年)						前期全校集会 R配布		プレスクーリング(大・益)	昭和の日	プレスクーリング(浜)	
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	振替(4/19)		憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日		振替(4/26)		日本S①・協S①		情報モラル教育講演会 火S①			振替(5/10)		PTA総会 本S②・協S②	月進路適性検査(卒生) 火S②	火生徒総会 R≠切			振替(5/17)		日本S③・協S③		月 火S③	←進研共通テ(3年) R配布	振替(5/24)		本S④ 通信制保護者会	
6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
		健康診断 火S④ R≠切			振替(5/31)	県定通体育大会	巡S④・協S④		社会人基礎力講座① 火S⑤・進学説明会			振替(6/7) R配布		本S⑤・協S⑤ 昭和学校ルーム懇談会	企業・学校見学① 火S⑥	避難訓練 R≠切			振替(6/14)		巡S⑥	進研記述模試(全)	火S⑦		水 進研記述模試(全)	木 遠足 R配布	金 振替(6/21)		本S⑥・協S⑦	火S⑧	
7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
		進路適性検査(在生)	振替(6/28)		心と体の健康講座① ビジネス文書検定・本S⑦・協S⑧	火S⑨・就職説明会②	社会人基礎力講座②			振替(7/5)		本S⑧・協S⑧		火S⑩		振替(7/12)			本S⑨・協S⑩	前期大掃除(大・益)		火S⑪		海の日	スポーツの日	本S⑩	前期大掃除 R≠切	前期レポート合格締切		前期受験願受付開始	振替(7/19)
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
		前期試験学習強化期間		分定通研究大会		前期受験願受付締切	振替(7/26)			月山の日	火試験準備	水完全閉庁	木完全閉庁	金完全閉庁	日 前期試験①	月	前期試験②(浜)				振替(8/16)		前期試験③		前期試験④(浜・大・益)			振替(8/23)		再試験	
9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
		木着こなし講座	振替(8/30)					水 追認試験		←進研①共通テ(3年)								振替(9/13)		前期卒業式PM 新入生一日入学AM		敬老の日	秋分の日		振替(9/20)		後期全校集会 R配布		プレスクーリング(浜田)	プレスクーリング(大・益)	

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		振替 (9/27)		日本S①・協S①		火S①	←進駿②記述模試(3年)		金振替 (10/4)		本S②・協S②		火S② 社会人基礎力講座R [×] 切		県生活体験発表会 R配布	金振替 (10/11)		本S③ 心と体の健康講座②		火S③	宿泊研修	宿泊研修	振替 (10/18)		巡S③		火S④ 定通スポーツ大会 R [×] 切	←進駿③共通テ(3年)		金振替 (10/25)	
11月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
	本S④ 学校公開日		文化の日	水企業・学校見学②		金振替 (11/1)		本S⑤・協S④ 通信制保護者会		火S⑤ 心と体の健康講座R [×] 切		水 R配布	金振替 (11/8)		日巡S⑤		火S⑥ 社会人基礎力講座④			木振替 (11/15)		金 ビジネス文書検定 協力校ル [△] 懇談会・本S⑥・協S⑥	日 勤労感謝の日 R [×] 切	火S⑦	←全統ブレ共通テ(3年)		金振替 (11/22)		日 本S⑦・協S⑦		
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	社会人基礎力講座⑤・火S⑧			振替 (11/29)		本S⑧・協S⑧		火S⑨ 入権・同和教育講演会 R [×] 切		水 R配布	金振替 (12/6)		日 本S⑨・協S⑨		月 火S⑩		火 振替 (12/13)			木 後期大掃除 本S⑩・協S⑩ R [×] 切	金	後期レポート合格締切	日 後期受験願発送	水		木	金	土	日 振替 (12/20)		
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	元日			後期試験学習強化期間 後期受験願受付開始							成人の日	後期受験願受付締切				←大学入学共通テスト	後期試験①			後期試験②	←進駿記述模試(12年)		金振替 (1/17)		日 簿記検定③		火 後期試験④(浜・大・益)		金振替 (1/24)		日 再試験
2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
				振替 (1/31)			←進駿共通テ(2年)		火 追認試験・追認会議		木 建国記念の日					火 生徒総会・冬季集団研修 在校生授賞式															
3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
	同窓会入会式・卒業生授賞式	卒業式												在校生受講指導					振替 (3/14)	春分の日				水 転・退任式							

2. 教育課程表

課程							学科		
通信制課程							普通科		
教科	教科・科目	単位数			主な学習開始年次			履修形態	備考
		標準単位数	必修科目	選択科目	1年次	2年次	3年次		
国語	国語総合	4	4		◎			前期・後期分割	現代文B、古典Bは、国語総合を履修した後に選択できる。
	現代文B	4		4			○	前期・後期分割	
	古典B	4		4			○	前期・後期分割	
地歴	世界史B	4	4			◎		前期・後期分割	日本史B、地理Bから必ず1科目以上履修すること。
	日本史B	4	4				◎	前期・後期分割	
	地理B	4	4				◎	前期・後期分割	
公民	現代社会	2	2		◎			前期・後期分割	前半1単位と後半1単位を同時に開講し、どちらか1つを履修することもできるし、一度に前半・後半まとめて2単位を履修することもできる。
	政治・経済	2		2			○	前期・後期分割	
数学	数学Ⅰ	3	3		◎			前期・後期分割	・数学Ⅰについては、前半1単位、後半2単位を同時に開講し、一度に前半、後半まとめて履修することもできる。 ・数学入門は学校設定科目であり、数学Ⅰを履修する前においてのみ選択できる。 ・数学Ⅱ及び数学Bは数学Ⅰを履修した後に選択できる。 ・数学Ⅲは数学Ⅱを履修した後に選択できる
	数学Ⅱ	4		4			○	前期・後期分割	
	数学A	2		2			○	前期・後期分割	
	数学B	2		2			○	前期・後期分割	
	数学Ⅲ	5		5			○	前期・後期分割	
	数学入門	学校設定科目		2	○			前期または後期	
理科	科学と人間生活	2	2		◎			前期・後期分割	・選択アで「科学と人間生活」を選択した生徒は、選択イで、「基礎」を付した科目のうち、必ず1科目以上履修すること。 ・選択アで「基礎」を付した科目を選択した生徒は、選択イで別の基礎を付した科目を2科目選択すること。 ・「物理」、「化学」、「生物」は、それぞれの「基礎」を付した科目を履修した後に選択できる。
	物理基礎	2	2		◎		◎	前期・後期分割	
	化学基礎	2	2		◎		◎	前期・後期分割	
	生物基礎	2	2		◎		◎	前期・後期分割	
	物理	4		4			○	前期・後期分割	
	化学	4		4			○	前期・後期分割	
	生物	4		4			○	前期・後期分割	
保健体育	体育	7~8	7		◎			前期・後期分割	・体育は、年間2単位ないし3単位ずつに分割し、複数年度にまたがって履修する。 ・保健は前期始まりのみ開講する。
	保健	2	2		◎			前期・後期分割	
芸術	音楽Ⅰ	2	2			◎		前期・後期分割	・「Ⅰ」を付した科目のうち、必ず1科目以上履修すること ・「Ⅱ」を付した科目はそれぞれに対応する「Ⅰ」を付した科目を履修した後に選択できる
	音楽Ⅱ	2		2			○	前期・後期分割	
	美術Ⅰ	2		2			◎	前期・後期分割	
	美術Ⅱ	2		2			○	前期・後期分割	
	書道Ⅰ	2		2			◎	前期・後期分割	
	書道Ⅱ	2		2			○	前期・後期分割	
外国語	英語表現Ⅰ	2	2			○		前期・後期分割	・英語入門は学校設定科目であり、コミュニケーション英語Ⅰを履修する前においてのみ選択できる。前半、後半を同時に開講し、一度に前半、後半まとめて履修することもできる。 ・コミュニケーション英語Ⅱは、コミュニケーション英語Ⅰを履修した後に選択できる。 ・英語入門以外の科目については、前期始まりのみ開講する。
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3		◎			前期・後期分割	
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		4			○	前期・後期分割	
	英語入門	学校設定科目		2	○			前期・後期分割	
家庭	家庭総合	4	4		◎			前期・後期分割	
情報	社会と情報	2	2			◎		前期・後期分割	前期始まりのみ開講する。
共通科目単位数計		47単位以上							
家庭	消費生活	2~4		3			○	前期・後期分割	家庭の専門科目、消費生活、子どもの発達と保育、服飾手芸については、家庭総合を履修した後に選択できる。
	子どもの発達と保育	2~6		4			○	前期・後期分割	
	服飾手芸	2~4		2			○	前期・後期分割	
商業	ビジネス基礎	2~5		3			○	前期・後期分割	商業の3科目については、前期始まりのみ開講する。
	簿記	2~8		4			○	前期・後期分割	
	情報処理	2~6		4			○	前期・後期分割	
専門科目単位数計		0単位以上20単位以下							
学校設定科目単位数計		0単位以上4単位以下							
教科・科目単位数計		71単位以上							
総合的な探究の時間		3~6	3			◎			総合的な探究の時間を必ず履修すること
単位数計		74単位以上							
特別活動		30単位時間以上	卒業までに30単位時間以上						

(1) 「主な学習開始年次」の◎は必修科目を表し、○は選択科目を表す。

(2) 「履修形態」の「前期・後期分割」は、履修単位を前期と後期に分割して履修することを意味する。単位認定は前期・後期、それぞれ終了時に行う。

(3) 「履修形態」の「前期または後期」は、履修単位を前期または後期のどちらかで履修することを意味する。単位認定は前期または後期の終了時に行う。

(4) この教育課程は、平成31年度から適用する。

3. 令和2年度開講講座一覧表

半期ごとに単位認定する科目

< 前期 >						< 後期 >							
教科名	講座名	単位数	レポート回数	面接時間数	試験	認定時期	教科名	講座名	単位数	レポート回数	面接時間数	試験	認定時期
国語	国語総合（前）	2	6	2	有	9月末	国語総合（後）	2	6	2	有	2月末	
	現代文B（前）	2	6	2			現代文B（後）	2	6	2			
	古典B（前）	2	6	2			古典B（後）	2	6	2			
地歴	世界史B（前）	2	6	2			世界史B（後）	2	6	2			
	日本史B（前）	2	6	2			日本史B（後）	2	6	2			
	地理B（前）	2	6	2			地理B（後）	2	6	2			
公民	現代社会（a）	1	3	2			現代社会（a）	1	3	2			
	現代社会（b）	1	3	2			現代社会（b）	1	3	2			
	政治・経済（a）	1	3	2			政治・経済（a）	1	3	2			
	政治・経済（b）	1	3	2			政治・経済（b）	1	3	2			
数学	数学Ⅰ（1）	1	4	2			数学Ⅰ（1）	1	4	2			
	数学Ⅰ（2）	2	6	2			数学Ⅰ（2）	2	6	2			
	数学Ⅱ（前）	2	6	2			数学Ⅱ（後）	2	6	2			
	数学A（前）	1	3	2			数学A（後）	1	3	2			
	数学入門	2	6	4			数学入門	2	6	4			
理科	科学と人間生活（前）	1	3	4			科学と人間生活（後）	1	3	4			
	物理基礎（前）	1	3	4			物理基礎（後）	1	3	4			
	化学基礎（前）	1	3	4			化学基礎（後）	1	3	4			
	生物基礎（前）	1	3	4			生物基礎（後）	1	3	4			
保健体育	体育1（前）	1	1	5			体育1（後）	1	1	5			
	体育2（前）	1	1	5			体育2（後）	1	1	5			
	体育3（前）	2	2	10			体育3（後）	1	1	5			
	体育4（前）	1	1	5			体育4（後）	1	1	5			
	体育5（前）	1	1	5			体育5（後）	1	1	5			
	保健（前）	1	3	1			保健（後）	1	3	1			
芸術	美術Ⅰ（前）	1	3	4			美術Ⅰ（後）	1	3	4			
	美術Ⅱ（前）	1	3	4			美術Ⅱ（後）	1	3	4			
	書道Ⅰ（前）	1	3	4			書道Ⅰ（後）	1	3	4			
	書道Ⅱ（前）	1	3	4	書道Ⅱ（後）	1	3	4					
外国語	英語表現Ⅰ（前）	1	3	4	英語表現Ⅰ（後）	1	3	4					
	コミュニケーション英語Ⅰ（前）	1	4	4	コミュニケーション英語Ⅰ（後）	2	6	8					
	コミュニケーション英語Ⅱ（前）	2	6	8	コミュニケーション英語Ⅱ（後）	2	6	8					
	英語入門（1）	1	3	4	英語入門（1）	1	3	4					
	英語入門（2）	1	3	4	英語入門（2）	1	3	4					
家庭	家庭総合（前）	2	5	4	家庭総合（後）	2	5	4					
	消費生活（前）	2	4	4	消費生活（後）	1	2	2					
	服飾手芸（前）	1	2	3	服飾手芸（後）	1	2	3					
	子どもの発達と保育（前）	2	5	4	子どもの発達と保育（後）	2	5	4					
情報	社会と情報（前）	1	3	2	情報	社会と情報（後）	1	3	2				
商業	ビジネス基礎（前）	1	2	3	商業	ビジネス基礎（後）	2	4	3				
	簿記（前）	2	4	4	簿記（後）	2	4	4					
	情報処理（前）	2	4	7	情報処理（後）	2	5	7					

通年で単位認定する科目



< 前後期併せて >

総合的な探究の時間	3	3	3	無	2月末
-----------	---	---	---	---	-----

4. 入学から卒業まで

入学から卒業まで、自分のペースに合わせて学べます。

入学資格（年齢制限はありません）

- 中学校を卒業した人
- 高校の転校を希望している人
- 高校を中退した人

願書等、必要書類を提出した上で受験し、合格すれば入学することができます。

入学

レポート添削

自宅でレポート学習、教科担任が指導。

スクーリング

登校し、学習する。

試 験

前期・後期試験を受ける。

特別活動

学校行事、HR、SHRへの参加。

在籍年数
3年以上
(新入生の場合)

単位の修得
74単位以上

特別活動の
出席時間数
30単位時間以上

卒 業

5. スクーリング登校時の流れ（本校スクーリングの場合）

登校

生徒証の携行

忘れた場合は職員室で仮生徒証を発行してもらいます。

出校表を記入

その日の出席予定を記入します。

掲示の確認

連絡用掲示や教室を確認します。

その他

ロッカーに荷物を入れてきちんと施錠。（本校のみ）

スクーリングに出席

- 生徒証の提示
- 教科書、学習書、レポートの準備
- 講座バーコードシートに自分のバーコードシールを貼付

※ 空き時間は図書学習室（生徒控室）等で自習

出校表の確認

予定を変更した場合は訂正します。

その他

忘れ物等に注意しましょう。

16：30までは図書学習室を開放します。

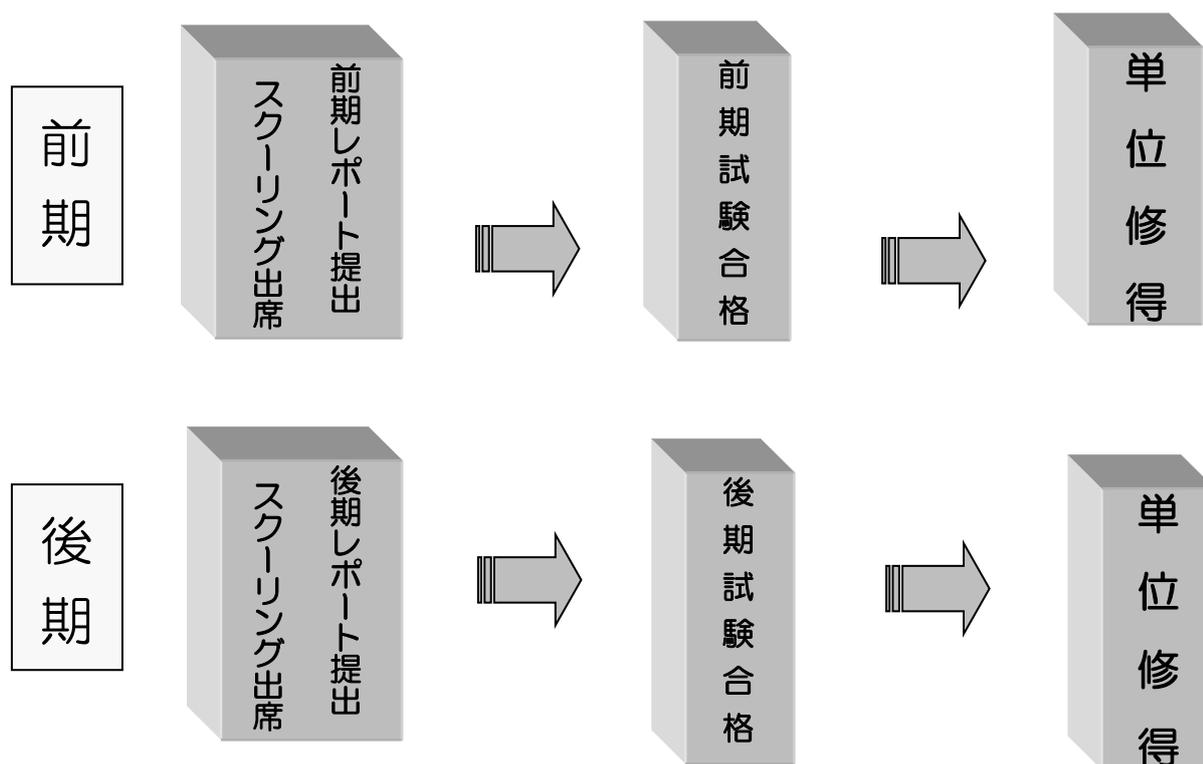
下校

6. 学習の進め方

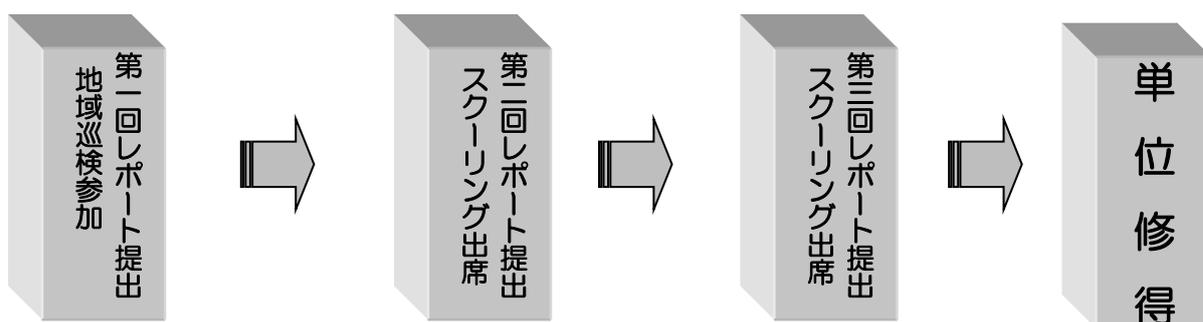
通信制課程での学習で大切な3つのポイント

- ・自学自習を原則とする。
- ・スクーリングに出席する。
- ・計画的に学習を進め、レポートを作成・提出する。

通信制課程の学習は、自分から進んで学習に取り組み、学習内容を自分のものとする積極的な態度が必要です。具体的には、スクーリング（面接指導）を受けたり、教科書・学習書による自学自習などによって、講座ごとに定められた回数のレポートを作成し、添削指導を受けることが中心になります。総合的な探究の時間を除いて年に2回試験があります。講座ごとに定められた受験資格の条件を満たすと受験することができます。講座ごとの学習内容は「各講座ごとの学習内容と目標」（P29～P63）、レポート回数、最低限出席しなければならない面接時間数などは、「開講講座一覧表」（P4）に示してあります。実行可能な学習計画を立て、計画的に学習を進めていくことが大切です。



総合的な探究の時間



7. スクーリング（面接指導）

スクーリングは、先生から直接指導を受ける大事な機会です。分からないところや疑問点等があれば、積極的に質問しましょう。年間のスクーリング実施予定日は、このてびきの「年間行事予定表」（P1・2）に示してあります。

＜スクーリング＞ ※正式名称は「面接指導」ですが「スクーリング」と呼ぶのが一般的です。

- ① 各科目における重要な学習事項と学習方法を身につけることができます。
- ② レポートに対応した授業なので、計画的に出席することで、レポート作成に役立ちます。
- ③ 授業の他に、各種の特別活動に参加することができます。

スクーリングに必ず持参するもの

- 全講座： 生徒証、教科書、学習書、レポート、筆記用具、生徒バーコードシール
- 体育： 体育館シューズ、ジャージ（短パン・Tシャツでも可）
- 芸術： 必要な用具一式、学習開始時に渡された教材（半切、画用紙等）
※ 必要な教材や用具を忘れると、授業に出席できない場合があります。

スクーリングの種類と実施内容

スクーリングには、浜田高校で実施するスクーリング（本S・火S）の他に、大田、益田の各協力校で実施する協力校スクーリング（協S）と巡回スクーリング（巡S）があります。各協力校に所属する生徒は、協力校でのスクーリングに加えて、浜田本校で実施する各種スクーリングにも出席することができます。本校地区に所属する生徒は、協力校スクーリング（協S）と巡回スクーリング（巡S）には出席することはできません。

1 本校スクーリング（本S）・火曜スクーリング（火S）

浜田高校で、日曜日及び火曜日に実施します。講義形式（通常の授業形式）の講座とレポート支援の講座を組み合わせ実施します。大田協力校・益田協力校所属の生徒も出席出来ます。

2 協力校スクーリング（協S）

大田、益田の協力校で、日曜日に実施します。
それぞれの協力校地区に所属する生徒だけが出席することができます。
レポート支援の講座を開講し、各協力校地区の先生が指導します。

3 巡回スクーリング（巡S）

巡回スクーリングでは本校の教員が協力校へ出向き指導します。

出席しなければならない面接時間数と出席の確認

1 面接時間数

講座ごとに最低出席しなければならない面接時間数が決まっています。このてびきの「開講講座一覧表」(P 4)を参照してください。事故・病気または悪天候による交通機関の運休等が起こりうることを考慮して、規定時間数のスクーリングが完了するように計画しましょう。なお、試験時間は面接時間数に加えません。

2 出席の記録確認

スクーリング(面接指導)や特別活動への出席は、「講座バーコードシート」に生徒バーコードシールを貼り付けることで記録管理します。面接指導や特別活動に出席するときには、生徒バーコードシールを必ず持参し、担当の先生の指示に従って、「講座バーコードシート」に貼り付けてください。生徒バーコードシールを貼り付けないと、出席したことになりません。

8. レポート

全日制では、毎日登校して授業を受けますが、通信制では、平素の学習は自宅で行います。この自学自習の成果を学校へ提出するのがレポートです。

提出されたレポートは、講座担任が添削し、本人に返します。添削されて返ってきたレポートは、必ず復習して大切に保管してください。試験はレポートから出題されます。

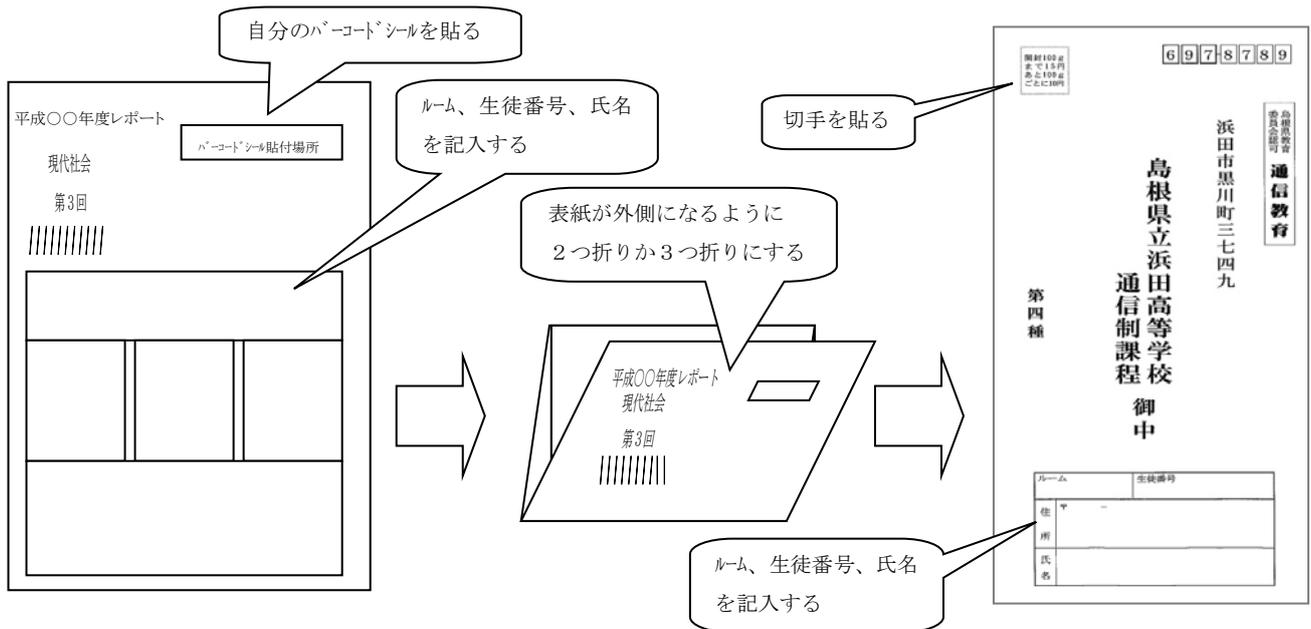
レポート作成の留意事項

- 1 レポートは、**配付されたものから順番に計画的**に取り組みましょう。
- 2 レポートは、教科書・学習書をよく調べて**自分**で作成しなければなりません。
- 3 決められたレポート発送日(P 1・2行事予定表及びP 70レポート配付・郵送日 参照)に各講座の1回分のレポートが送られてきます。
自分が受講している講座のレポートが届いているか必ず確認してください。
- 4 **解答欄に空欄がある場合、または合格点に達しなかった場合には、再提出となります。**
すべての解答欄をきちんと埋めて提出してください。
- 5 他人のレポートの丸写しをした場合は、合格とはなりません。
- 6 正確な文字で、丁寧に作成してください(略字を使ってはいけません)。
- 7 レポートの表紙の指定場所にバーコードシールを貼り、ルーム・生徒番号・氏名など必要事項をすべて忘れずに記入してください。

レポート提出についての注意事項

- 1 レポートの提出回数は、講座ごとに決められています。
※P 4「開講講座一覧表」に、前期分、後期分に分けて示されています。
- 2 レポートの提出については、「**提出しめきり日**」までに、**計画的に提出してください。**
しめきり日を過ぎて提出した場合減点となります(P 69レポートしめきり日 参照)。
- 3 1日、各講座1回分の合格しか認めていません。

- 4 レポートには前期・後期それぞれに合格しめきり日が設けられています。その日までに規定の回数に合格する必要があります。
- 5 レポート提出にあたっては、次の①～③のいずれかの方法でお願いします。
① 郵送する ② 本校の所定のボックスに入れる ③ 協力校スクーリング時に先生に直接手渡す
- 6 郵送する場合は、必ず通信教育用の封筒を使用し、必要事項を記入して、切手（**100gまで15円**）を貼って送付してください。
- 7 定形の封筒を使う場合はレポートの表紙が外側になるように2つ折りか3つ折りにして封筒に入れてください（下図参照）。
封筒はのり付けしてください（ホッチキスではとめないでください）。

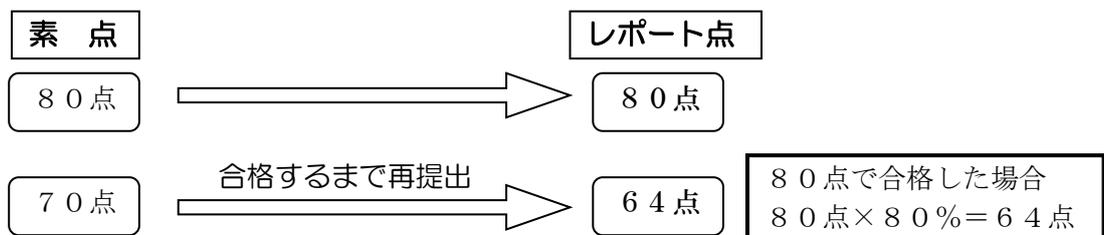


レポートの採点方法

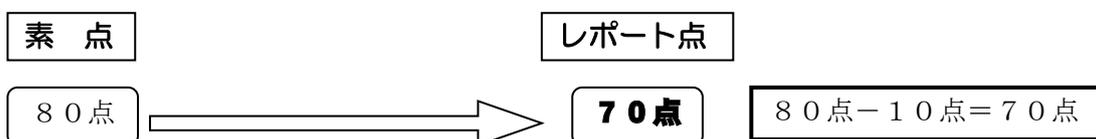
- 1 提出しめきり日までに提出され、80点以上の場合は合格です。
- 2 提出しめきり日までに提出したが、80点未満の場合は再提出となります。
- 3 再提出の場合80点以上になるまで提出してください。
80点以上で合格した場合、素点に80%をかけた点数がレポート点になります。
- 4 **提出しめきり日を過ぎて提出した場合、一律にレポート点から10点減点します。**

<例>

- ① 提出しめきり日までに提出した場合



- ② 提出しめきり日を過ぎて提出した場合（レポート点から10点減点）





補足事項

- (1) スクーリングを有効に活用し、レポート作成に最大限役立ててください。
- (2) 生徒バーコードシールがなくなりそうになったときには、担任に申し出てください。
 (残ったバーコードシールは次年度も使用できます)
- (3) レポート提出後10日間経っても返却されない場合は、学校に問い合わせてください。

9. 試験

試験は、前期試験と後期試験の2回に分けて実施します。試験の時間割、範囲、試験の要点など詳しいことは、「亀山通信」に掲載します。

(1) 受験資格

前期・後期ともに

合格しめきり日までに、試験範囲のレポート及びスクーリング時数をクリアしていること

- ・レポートを郵送する場合は、合格しめきり日のしめきり時間までに学校に届いていなければなりません。合格しめきり日の合格しめきり時間までに合格していない場合は、いかなる理由があろうとも受験資格が得られません。
- ・合格しめきり日のしめきり時間間際にレポートを提出すると、万一再提出になった場合は、当該講座の受験資格を失うことになるので余裕をもって提出するように心がけましょう。

(2) 受験手続き

送られてきた受験願に必要事項を記入し、しめきり日までに提出してください

- ・受験資格を満たした科目については「受験願」を郵送します。
- ・受験願を郵送する場合は、しめきり日までに学校に届いていなければなりません。
しめきり日までに提出していない場合は、いかなる理由があろうとも受験資格が得られません。
- ・しめきり日を過ぎた後の受験日の変更はできません。受験できなかった場合は再試験日に受験することになります。
- ・講座名は略さず正確に記入してください。 (例) 「英語」ではなく「コミュニケーション英語Ⅰ」



(3) レポート合格期限及び受験願の受付期間

	前期試験	後期試験
レポート合格しめきり日	令和2年 7月27日 (月)	令和2年12月22日 (火)
「受験願」受付期間	令和2年 7月30日 (木) ～ 8月 6日 (木)	令和3年 1月 4日 (月) ～ 1月12日 (火)

※ 郵送の場合は、しめきり日の16:30必着です。(当日の消印有効ではありません。)

※ 直接、本校に来て提出する場合も、しめきり日の16:30までです。

(4) 受験上の注意

- ・試験は厳正な態度で受けること。
- ・生徒証を携帯すること。
- ・机上には筆記用具のみ置くこと。
- ・レポート、教科書、学習書、ノート、筆箱、携帯電話(電源オフ)等はカバンに入れ、指定された場所に置くこと。机の中には何も入れないこと。
- ・時間途中の退出はできません。
- ・試験開始後5分以上遅刻した場合、受験できません。
- ・生徒証を忘れた人は、試験開始前に職員室へ行き、仮の生徒証を発行してもらうこと。

<受験願記入例>

受験願 (前期) A		受験願 (前期) B	
ルーム	① 1A	② 浜田 太郎	① 1A
講座名	国語総合	国語総合	国語総合
受験場	<input checked="" type="checkbox"/> 本校 <input type="checkbox"/> 協力校 (高校)	<input checked="" type="checkbox"/> 本校 <input type="checkbox"/> 協力校 (高校)	<input checked="" type="checkbox"/> 本校 <input type="checkbox"/> 協力校 (高校)
受験日	○月 ○日 △曜日 / 限	○月 ○日 △曜日 / 限	○月 ○日 △曜日 / 限
【注意事項】 ①受験願は〆切日を厳守すること。 ②継続科目は「継」に〇をすること。 ③受験場はいずれかに〆印をつけ、協力校の場合は、学校名を記入すること。 ④※欄は記入しないこと。		※ <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> レポート合格不足 () <input type="checkbox"/> 面接時数不足 () <input type="checkbox"/> 受験願〆切日後到着 (A票) 講座担任 (B票) 講座担任→ルーム担任	

- ① ルーム名を記入する
- ② バーコードシールを貼る
- ③ 本校で受験する人は本校
協力校で受験する人は
協力校にチェックをする
(協力校で受験する人は益田
高校か大田高校か学校名を
記入する)
- ④ 受験日を記入する
希望する受験日と受験時間
を記入

※同じ番号には同じものを
記入

(5) 結果の通知

試験結果は、後日、本人に通知します。

(6) 追認試験

成績が認定基準に達しない場合に追認試験を行います。

10. 放送視聴学習

(1) NHK「高校講座」の利用について

NHK「高校講座」は、自学自習を基本とする通信制のみなさんにぴったりの番組です。
NHK・Eテレ、ラジオ第2放送(AM693KHz)で放送されています。

NHK高校講座を利用すると、

- ①各科目で放送時間が毎週決まっているので、計画的に学習に取り組みます。
- ②スクーリング授業の予習・復習になります。
- ③レポート学習に取り組みやすくなります。
- ④試験前に番組を見ると試験対策にもなります。
- ⑤1つの番組は10～20分と短時間なので、集中して学習できます。

また、教科書や学習書を参考にしてもなかなか理解できない、レポートが進まないときなどに、ぜひ、NHK高校講座を利用してください。番組の中で映像に合わせてゆっくり解説してくれますので、レポートも理解しやすくなります。

NHK高校講座の利用方法は、スクーリング授業で説明します。「亀山通信」やホームページなどでもお知らせします。そちらも見てください。

さらに、テレビ・ラジオ放送終了後には、インターネットやスマートフォンで番組をいつでも見ることができます。ぜひ利用してみてください。

インターネット・スマートフォンを利用すれば、

- ①自分の好きなときにいつでも見る（聴く）ことができます。
- ②繰り返し見る（聴く）ことができます。
- ③理解を助ける「学習メモ」を利用できます。
- ④「理解度チェック」で基本的な内容が理解できているか自分でチェックできます。

(2) 番組時刻表

Eテレ	月	火	水	木	金	
14:00～14:10	ベーシック数学	ベーシック国語	化学基礎	社会と情報 / 科学と人間生活	日本史	14:00～14:20
14:10～14:30	数学Ⅰ	国語表現				
14:30～14:40	ベーシック英語	ビジネス基礎	物理基礎	美Ⅰ・書Ⅰ	世界史	14:20～14:40
14:40～15:00	コミュニケーション英語Ⅰ	生物基礎	地学基礎	家庭総合	地理	14:40～15:00

ラジオ第2放送	月	火	水	木	金	土
19:30～19:50	現代文	現代文	コミュニケーション英語Ⅲ	仕事の現場	古典	古典
19:50～20:10	現代社会	英語表現Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	倫理	政治・経済
20:10～20:30	コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	保健体育	音楽Ⅰ	国語総合	国語総合

※太字は本校で対象になる講座です。

(3) 視聴による面接時間数の免除について

視聴した結果を視聴報告書にまとめて提出し、合格と認定された場合は、該当講座の面接時間数の一部が免除されます。

テレビ講座・ラジオ講座とも同一講座を2回分視聴し、学習効果があったと認定されたとき、1時間の面接時間数が免除されます(1回分あたり0.5時間)。

視聴報告書(次ページ)を各自でコピーして作成してください。

(4) 放送視聴学習により免除される面接時間数

	講座名	面接時数	放送可能時数		講座名	面接時数	放送可能時数		講座名	面接時数	放送可能時数
国語	国語総合(前)	2	1	数学	数学Ⅰ(1)	2	1	英語	英語入門(1)	4	3
	国語総合(後)	2	1		数学Ⅰ(2)	2	1		英語入門(2)	4	3
	現代文B(前)	2	1		数学Ⅱ(前)	2	1		C英語Ⅰ(前)	4	3
	現代文B(後)	2	1		数学Ⅱ(後)	2	1		C英語Ⅰ(後)	8	6
	古典B(前)	2	1		数学入門	4	3		C英語Ⅱ(前)	8	6
	古典B(後)	2	1		理科	科学と人間生活(前)	4		3	C英語Ⅱ(後)	8
地歴・公民	世界史B(前)	2	1	科学と人間生活(後)		4	3	英語表現Ⅰ(前)	4	3	
	世界史B(後)	2	1	物理基礎(前)		4	3	英語表現Ⅰ(後)	4	3	
	日本史B(前)	2	1	物理基礎(後)		4	3	情報	社会と情報(前)	2	1
	日本史B(後)	2	1	化学基礎(前)		4	3		社会と情報(後)	2	1
	地理B(前)	2	1	化学基礎(後)		4	3	家庭	家庭総合(前)	4	3
	地理B(後)	2	1	生物基礎(前)		4	3		家庭総合(後)	4	3
	現代社会(a)	2	1	生物基礎(後)		4	3	商業	ビジネス基礎(前)	3	2
	現代社会(b)	2	1	芸術		美術Ⅰ(前)	4		3	ビジネス基礎(後)	3
	政治・経済(a)	2	1			美術Ⅰ(後)	4	3			
	政治・経済(b)	2	1		書道Ⅰ(前)	4	3				
					書道Ⅰ(後)	4	3				

11. 特別活動（特活）

（1）特別活動とは

高校での学習内容には、各教科の学習と特別活動の2つの柱があります。特別活動とは、学校行事・生徒会活動・ホームルーム活動など教科の学習を除く教育活動をいいます。

人間は常に社会の一員として生きていくもので、他人との関わりをなくしてしまうことはできません。特別活動は、見聞を広め、友人と交わり、集団で行動し生活する体験を通して、人間としてのよりよい生き方を身につけていくことを目的とした活動です。

卒業の条件として、30単位時間以上特別活動に参加する必要があります。

（2）通信教育と特別活動

通信教育では、いろいろな理由で学習が進まなくなることがあります。そんなとき特別活動に参加して仲間と話し合ったり、スポーツを楽しむことで新しい意欲が生まれてくることがあります。

今までの卒業生の多くは、特別活動に参加して仲間をつくり、お互いに励ましあって卒業を迎えました。通信教育の生徒にとって特別活動に参加することはとても大切なことです。

（3）特別活動の種類 ※ 学校通信（亀山通信）などでその都度案内します。

学校行事・特別活動

全校集会、入学式、卒業式、転退任式、定通体育大会、定通体育大会壮行式
防災訓練、清掃活動、進学説明会、就職説明会、宿泊研修、企業・学校見学生
生活体験発表会、遠足 など

ホームルーム

本S（日曜日）の隔週の4限に実施します。
（内容によっては曜日、時間が変更になることがあります。）

SHR

本S、火S、協S、巡S で実施します。
本校は放課後、協力校は昼休み中に実施します。

生徒会活動

生徒総会、校内レクリエーション、制作活動、生徒会提案行事 など

今年度の年間計画（P 6 4～P 6 5）、学校行事の内容（P 6 6～P 6 8）を参照してください。

12. 単位の認定

(1) 単位の認定の時期

単位の認定は半期ごとに行います。前期試験終了後及び後期試験終了後に単位の認定を行います。また、通年科目の単位認定は年度末に行います。1年を通して学習が完了していないと単位の認定はされません。

(2) 履修認定

次の2つの条件を満たしたとき、その講座の履修が認定されます。必履修科目については、すべて履修が認定されていないと卒業できません。

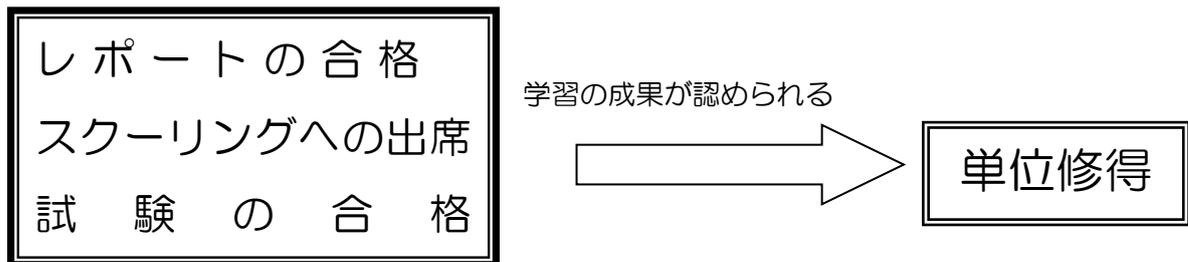
- | |
|--|
| ① 講座ごとに定められたレポートを提出し、合格していること。 |
| ② 講座ごとに定められた時間数以上のスクーリング（面接指導）に出席していること。 |

(3) 単位認定

上記「履修認定」の条件を満たし、定められた回数の試験を受け、それらの成績を総合評価して、学習の成果が教科・科目の目標からみて十分であると認められると、単位認定されます。

「総合的な探究の時間」は、定められたレポートに合格し、定められた時間数以上の面接指導を受けていると、単位認定されます。

単位修得に至るまでを図示すると、次のようになります。



(4) 評点と評定

学習が完了すると、学習の成果を評価します。これを100点法で算出したものを評点といいます。5段階で算出したものを評定といいます。単位を修得した場合、5を最高に以下4、3、2の評定がつきます。単位を修得できない場合でも、履修が認定されると1の評定がつきます。

評定は、進学や就職の際、高校における学習状況の資料として、調査書に記載されます。

13. 通信制課程以外での学修の成果

通信制課程以外での学修の成果による単位認定には、通定併修、高等学校卒業程度認定試験合格科目の単位認定、実務代替の単位認定及び技能審査の成果の単位認定等があります。

本校の卒業に必要な単位として認定するにあたって、以下のような条件があるので注意してください。詳しいことは、ルーム担任に相談してください。

- (1) 単位認定の申請ができるものは、入学時を除き、本校在籍中に行った活動に限る。
- (2) 年度はじめての受講登録時に申請を行う。
- (3) 1年間に単位認定できるのは、受講登録した講座の単位数と合わせて30単位までとする。
- (4) 卒業に必要な単位として認定する上限は次ページ表1のとおり。

(1) 通定併修

通定併修とは、本校の定時制課程で開講している講座を受講して、単位を修得することができる制度のことです。通定併修で修得した単位は、卒業に必要な単位に加えることができます。

(2) 高等学校卒業程度認定試験合格科目の単位認定

高等学校卒業程度認定試験で合格した科目は、本校の規定に従って単位認定し、卒業に必要な単位に加えることができます。ただし、単位認定の申請をする場合、全科目合格者は文部科学省発行の「合格証明書」(写し可)、一部科目合格者は「科目合格通知書」(写し可)が必要です。

(3) 実務代替の単位認定

商業科目「ビジネス基礎」を受講する生徒または単位修得済みの生徒が、現にその科目と密接な関係にある職業に従事しており、その職業における実務等が「ビジネス基礎」の一部を履修したものと同様の成果があると認められるとき、その実務等をもって、「ビジネス基礎」に増加単位と認定することができます。

(4) 技能審査の成果の単位認定

現在、職業資格付与のための試験や実践的スキル・技術の能力の検定等を目的とした多種多様な検定試験、いわゆる技能審査が実施されています。

本校では、次ページ表2の技能審査に合格又はその特定の資格を取得した場合、その成果を対応する本校の教科・科目の増加単位として認定することができます。ただし、単位に認定の申請をする場合、当該技能審査の「合格証明書」(写し可)が必要です。

(5) 浜田ビューティカレッジの単位認定

本校に在籍しながら浜田ビューティーカレッジにも在籍する生徒について、校内で審議を経て単位認定が可能です。

<表1>

(1) 校内併修（通定併修）	既修得単位数0の生徒・・・なし 上記以外・・・年間12単位	卒業までに 24単位
(2) 高等学校卒業程度認定試験合格科目	卒業までに16単位	
(3) 技能審査の成果	卒業までに16単位	
(4) 実務代替	卒業までに2単位	
(5) 浜田ビューティーカレッジでの修得単位	卒業までに11単位	
(6) 学校設定科目	卒業までに20単位	

<表2>

教科	技能審査の種類	級・種別	対応科目	認定単位数	実施団体等
国語	日本漢字能力検定	2級以上	国語総合	2	(財)日本漢字能力検定協会
地歴	歴史能力検定 世界史	2級以上	世界史B	2	歴史能力検定協会
	歴史能力検定 日本史	2級以上	日本史B	2	歴史能力検定協会
数学	実用数学技能検定	2級以上	数学Ⅱ	1	(財)日本数学検定協会
理科	気象予報士		科学と人間生活	2	(財)気象業務支援センター
外国語	実用英語技能検定	2級以上	C英語Ⅰ、C英語Ⅱの内いずれか 1科目	3	(財)日本英語検定協会
	英語検定	1級	C英語Ⅰ、C英語Ⅱの内いずれか 1科目	3	(財)全国商業高等学校協会
芸術	硬筆書写技能検定	2級以上	書道Ⅰ	1	(財)日本書写技能検定協会
	毛筆書写技能検定	2級以上	書道Ⅰ、書道Ⅱの内いずれか1科目	2	(財)日本書写技能検定協会
家庭	毛糸編物技能検定	2級以上	服飾手芸	2	(財)日本編物検定協会
	レース編物技能検定	2級以上	服飾手芸	2	(財)日本編物検定協会
	全国高校家庭科技術検定 被服(和服)	1級	服飾手芸	2	全国高等学校 家庭科教育振興会
	全国高校家庭科技術検定 被服(洋服)	1級	服飾手芸	2	全国高等学校 家庭科教育振興会
	全国高校家庭科技術検定 保育	1級	子どもの発達と保育	2	全国高等学校 家庭科教育振興会
商業	情報処理検定(プログラミング部門)	1級	情報処理	2	(財)全国商業高等学校協会
	情報処理検定(ビジネス情報部門)	1級	情報処理	2	(財)全国商業高等学校協会
	情報処理能力検定	1級	情報処理	2	(財)全国経理学校協会
	基本情報技術者試験		情報処理	3	経済産業省
	ITパスポート試験		情報処理	3	経済産業省
	簿記実務検定	1級	簿記	3	(財)全国商業高等学校協会
	簿記能力検定	1級	簿記	3	(財)全国経理学校協会
	簿記検定	2級以上	簿記	2	日本商工会議所
	商業経済検定	1級	ビジネス基礎	2	(財)全国商業高等学校協会
	販売士検定	2級以上	ビジネス基礎	2	日本商工会議所

14. 受講手続き（「受講指導」→「受講手続き」）

学習を始めるには、受講する講座を決めて「受講手続き」をする必要があります。1年間の学習計画を立てる大事な手続きです。

在校生は、3月中旬の「受講指導」の日に出校しルーム担任の指導を受け、来年度受講する講座を決めます。そして、新年度の始め（4月）に受講手続きを行います。定められた期間内に受講手続きを終えなければ新年度の受講ができなくなりますので、注意してください。

新入学生は、新入学生一日入学の日に「受講指導」を受け同時に受講手続きを行います。

※1年間に受講登録できる単位数（通信課程以外での学修の成果を含む）は、修得単位のない生徒は24単位まで、修得単位のある生徒は30単位までです。

※受講登録した講座の有効期間は1年間です。この間に単位修得できない場合は、新年度に改めて受講手続きをし、その学習を初めからやり直すこととなります（レポート、スクーリングともに0からのスタートです）。

15. 卒業の条件

次の6つの条件がすべて満たされ、校長が適当と認めた場合に卒業が認められます。

(1) 在籍期間	3年以上通信教育を受けていること。（新入生の場合）
(2) 必履修科目	教科・科目の必履修科目をすべて履修していること。
(3) 総合的な学習の時間 または総合的な探究の時間	3単位以上履修していること。
(4) 修得単位	74単位以上修得していること。
(5) 特別活動	30単位時間以上履修していること。
(6) その他	本校入学後、卒業するのに修得しなければならない単位数のうち、3分の2以上は通信制課程で修得していること。 転入生及び編入生は、本課程で10単位以上の科目（「総合的な学習の時間」または「総合的な探究の時間」を含む）を履修していること。

■転入生及び編入生について

- ・前籍校で修得した科目の単位は、本校の規定に従って単位を認定します。
- ・前籍校での在籍期間も、本校の規定に従って卒業に必要な在籍期間に含みます。
- ・前籍校での活動状況に応じて、特別活動を認定します。

16. 在籍年数

本校の通信制課程は、3年で卒業することが可能です。病気による休学などやむを得ない事情により3年間で卒業できない場合は、引き続き在籍が認められます。ただし、10年間で卒業に必要な単位を修得できない場合、またはその可能性が高くなった場合は、引き続き在籍することはできません。転入生及び編入生は、前籍校での在籍期間も本校の規定に従って在籍期間に含みますので、注意が必要です。

17. 図書学習室の利用

読書のための利用だけでなく、出校時の自習の場として、図書学習室を利用する機会は多いと思います。ルールやマナーを守り、みんなで気持ち良く図書学習室を活用しましょう。

図書学習室を利用する際には、次の各事項を必ず守ってください。

- (1) 図書を借りる場合は、受付カウンターにある案内に従って自分で貸し出し手続きをしてください。借りることのできる図書は3冊まで、貸出期間は2週間です。
- (2) 返却する際には、受付カウンターの返却箱に返却してください。
- (3) 購入希望図書があれば、教員に申し出てください。
- (4) 室内では静粛を心がけ、他の人に迷惑にならないようにしましょう。携帯電話（スマホ）は使用しないでください。飲食は厳に禁じます。

18. 進路指導室の利用

進路指導室は、皆さんが将来を考えるときにサポートをするための部屋です。ここで資料を調べたり、担当の先生に相談をしたりすることができます。利用するに当たって、次の事柄に留意してお互い気持ちよく過ごせるように協力してください。なお、使用したいときは、進路指導の先生や担任の先生に連絡してください。

※常設のパソコンも1台あります。大学情報の検索や就職求人票の閲覧等、有効に利用しましょう。

19. 保健室の利用

保健室は、皆さんが健康な学校生活を送れるよう支援するところです。全員にとって利用しやすい環境であるよう以下の点に留意をお願いします。

- (1) 登校前に体調が悪いときは、無理をして登校せず、自宅で療養するか、医療機関を受診してください。
- (2) 授業中に体調が悪くなったときは、授業担当の先生に申し出て許可を得てから来室してください。
- (3) 保健室での処置は、けがや体調不良に対しての一時的な応急処置です。必要に応じて医療機関を受診してください。

20. スクールカウンセラー等への相談について

カウンセリングでは、皆さんの悩みや不安について傾聴するとともに問題解決のための過程を支援していきます。悩みや不安はひとりで抱え込まず、まずは相談してみてください。

スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）、教育相談員への相談

- ① 本人、保護者の相談が可能です。
- ② 相談は原則として予約制です。希望者は、担任の先生か保健室へ連絡してください。
- ③ あなたの話しした内容をあなたの許可なく他者に伝えることはありません。

※スクールカウンセラー（SC）

心理に関する高度な専門的知見を有し、生徒及びその保護者、教職員への支援に係る助言・援助等を行う。

※スクールソーシャルワーカー（SSW）

福祉に関する専門性を有し、生徒のQOL（生活の質）の向上のため生徒が置かれた環境に働きかけ等を行う。

※教育相談員

心身の健康に対する専門性を有し、生徒及びその保護者の相談内容に教職員と連携し対応・行動する。

21. 生徒心得

充実した学校生活を送り、学習環境を良くするために、次のことを守りましょう。

(1) 登校した時

- ①生徒証を携帯する。
- ②出校表に氏名・生徒番号とその日の予定を必ず記入する。
- ③通信制掲示版の伝達事項を確認する。
- ④SHRには、できる限り出席し、今後の予定等を確認する。

(2) スクーリング

- ①チャイムは鳴らないので、時間は各自で確認して行動する。
- ②携帯電話は、電源を切って出席する。
- ③5分以上遅れた場合は入室しない。

(3) 所持品について

- ①私物は自己責任で管理する。
- ②貴重品以外はロッカーを利用する。
- ③必要があれば、貴重品は担任などに預ける。

(4) 校内生活一般について

- ①勉学の場にふさわしい服装・良識ある言動をする。
- ②集会や印刷物の掲示・発行・署名活動・募金活動を行う場合は、届け出て承認を得る。
- ③使用した教室・場所は、責任を持って整理・整頓・戸締りをする。
- ④教室では飲食をしない。昼食は指定された場所です。持ち込んだゴミは各自で持ち帰る。
- ⑤自転車・オートバイ・自動車で通学する者は、指定された場所に駐輪・駐車する。
- ⑥学校敷地内はすべて禁煙。違反した場合は、成人であっても懲戒処分の対象となる。

(5) 校外での生活について

- ①交通ルールを守り、事故の無いように心がける。
- ②やむを得ず長期間にわたって欠席する場合は、ルーム担任まで連絡する。
- ③犯罪などに巻き込まれた場合は、ルーム担任まで連絡する。
- ④アルバイトなど仕事を始めたり、職場が変更になったりした場合にはルーム担任まで連絡する。

22. 通学方法（通学に関する規定）

本校スクーリングにおいては、車両（自転車、原動機付自転車、自動二輪車、自動四輪車）を使用し

での通学を希望する人は、ルーム担任に申し出て、下記の要領で申請してください。

車両通行証を発行しますので、厳守事項を確認して、事故の無いように心がけてください。

<申請手続き>

- ①「**通学車両申請書**」（本校指定書式）
- ②「**運転免許証**」の写し
- ③「**自賠責保険証明書**」・「**車検証**」の写し
- ④ 自動四輪車については、「**任意保険証明書**」の写し

<厳守事項>

- ①申請を認可された生徒は、定時制・通信制校舎の駐車場・駐輪場に駐車・駐輪しましょう。
- ②「**車両通行証**」は以下のようにしてください。
 - 自動四輪車…ダッシュボード上で、外部から視認できる位置に置く。
 - 自転車・自動二輪車・原動機付き自転車…登校時に携行する。
- ③校地内は徐行（時速20km以下）し、騒音を出してはいけません。
- ④指定の通学路を通行しましょう。（P80 参照）
- ⑤グランド側通学路（桜並木）は自転車・歩行者専用のため車両は通行禁止です。
- ⑥その他上記事項に違反した場合は、「**車両通行証**」を返していただきます。
- ⑦万一不測の事態が起きても学校は一切責任を負いません。
- ⑧通学に使用する車両を変更したときは、その都度必要書類を提出してください。

23. 通信制生徒の特典

(1) 郵便料金の特別扱い

- ① 通信教育の教材は、第4種郵便物として扱われ、通信教育用封筒を利用すれば郵便料金が一般の郵便物よりも安くなるように配慮されています。

100 g まで15円、100 g を超えるときは100 g 増すごとに10円加算。

- ② 通信教育の教材とは、レポートや学習についての質問事項及び学習上の作品などです。それ以外の個人的な手紙や事務上の関係書類は、一般の郵便物として扱われますから注意してください。
- ③ 郵便物には、住所・氏名・生徒番号を明記すること。封筒にはもちろん、通信文や質問など中に入れる用紙にも必ずルーム・生徒番号・氏名を忘れないように記入してください。

(2) 教科書・学習書給与

一定の条件を満たした場合には教科書と学習書の代金が給与されます。
(教科書と学習書の代金がありません)

(3) 奨学金制度 (※金額等はいずれも令和元年度のもの)

- 島根県育英会高等学校等奨学資金

自宅通学生 月額 18,000円 自宅外通学生 月額 23,000円

<応募資格>

島根県出身の生徒等であって、学習意欲が旺盛でありながら経済的な理由により修学することが困難な者。

- その他の奨学金

定時制・通信制の生徒を対象とする様々な奨学金があります。また、進学希望者のための予約奨学金制度もあります。(詳細については奨学金担当者にお問い合わせください。)

(4) JR等乗車賃学生割引制度

- ① 乗車券割引 (JR)

片道100kmを超えた場合に20%の割引があります。進学・就職のための受験などの場合に利用できます。

- ② 回数券割引 (JR)

スクーリング等に出席するために利用する場合、回数券を半額で購入できます。これは、通信教育生のみ認められた特典です。

※スクーリング等に出席する目的以外には使用できません

(5) 勤労学生控除

年間所得が一定額以下の場合、所得税・県民税・市町村民税について勤労学生控除が適用されます。詳しいことは、職場や税務署にお問い合わせください。

24. 事務手続き

(1) 学校への連絡

- ① 次のような変更・異動があった場合は、必ず学校へ届け出なければなりません。
- (ア) 休学後復学するとき
 - (イ) 学修活動を休止するとき
 - (ウ) 住所を変更したとき
 - (エ) 姓が変わったとき
 - (オ) 電話番号を変更したとき
- ② 次の場合は、速やかに所定の様式により願い出て手続きをしなければなりません。
- (ア) 転学するとき（転学願）
 - (イ) 退学するとき（退学願）
 - (ウ) 住所を変更したとき（氏名変更・住所変更届）
 - (エ) 姓が変わったとき（氏名変更・住所変更届）
- ※用紙請求はルーム担任の先生へ申し出てください。

(2) 各種証明書の交付

- ① 生徒証を入学時に交付します。年度更新されます。
- ② 下表の証明書の交付を受けたいときは届・願を提出しなければなりません。電話による請求も受け付けています。

届・願	備 考
在学証明書	・請求する用紙は職員室にあります。
学割証	・請求する用紙は職員室にあります。担任の先生の印鑑をもらってから事務へ提出してください。
学業成績証明書	・請求する用紙は職員室にあります。担任へ依頼してください。
単位修得証明書	
調査書	
卒業見込証明書	・請求する用紙は職員室にあります。事務へ依頼してください。
卒業証明書	

成績証明書・単位修得証明書・調査書・卒業証明書の交付申請書はホームページからでもダウンロードできます。

③ 卒業生は有料です。（在校生は無料です）
卒業した年の3月31日（消印有効）までは無料です。

(7) 有料となる証明書は以下のとおりです。

卒業証明書、成績証明書、単位修得証明書、調査書、資格取得証明書、推薦書、関係書類の保存年限切れによる発行不能証明書、その他各種証明書

(イ) 手数料の額は1通につき500円です。

各種証明書とも共通料金です（すべて1通につき500円）

(ウ) 手数料の支払方法は以下のとおりです。

○窓口申請の場合

学校事務室で現金にてお支払い下さい。なお、つり銭がいらぬように手数料を用意して下さい。つり銭が必要な場合、交付申請を受理できない場合があります。

○郵送による申請の場合

最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局で、郵送為替証書（定額小為替証書又は普通為替証書）を購入し、申請書に同封して郵送して下さい。

(エ) その他

○証明書の交付には証明書交付申請書と本人確認書類が必要です。（運転免許証、健康保険証、個人番号カード、住民基本台帳カード、パスポートなど。郵送の場合は写しを添付）

○各種証明書は、原則、即日交付はできません。証明書の種類により、交付には平日で数日から10日程度を要します（郵送での交付の場合はさらに郵送による日数がかかります。申請は日数に余裕を持って行って下さい）。

○郵送による申請の場合は返信用封筒・返信用切手が必要です。

○証明書は発行可能な年限がありますのでご注意下さい。

- 成績証明書：卒業後5年間**
- 単位修得証明書：卒業後20年間**
- 卒業証明書は永年発行など**

【詳しくは学校事務室にお問い合わせ下さい】

25. 学校感染症による出席停止（出校停止）

学校は生徒が集団で過ごす場であり、そこで発生する感染症の流行を予防することは、望ましい学習環境を維持するために大切です。体調不良を感じるような場合は、早めの医療機関への受診をお願いします。また、下記の表は主な感染症と学校保健安全法で定められている出席停止の期間です。医師の指示及び下記の表に従い、自宅での十分な療養をお願いします。

〈感染症および出席停止の期間〉

病 名	出 席 停 止 期 間
インフルエンザ (特定鳥インフルエンザを除く)	発症した後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで
麻疹（はしか）	熱が下がって3日を経過するまで
風しん（三日ばしか）	発疹が消失するまで
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日間を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
水痘（みずぼうそう）	すべての発疹がかさぶたになるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後2日を経過するまで
結核	医師が感染のおそれがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	医師が感染のおそれがないと認められるまで

26. 独立行政法人日本スポーツ振興センター「災害共済給付制度」

独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度は、学校の管理下において生徒が災害（負傷、疾病、傷害又は死亡）に遭った場合、その治療費や見舞金の給付を保護者等に対して行う制度で、原則全員が加入します。

(1)給付の種類と給付される場合

学校の管理下で生じた事由による負傷や疾病の医療費、これらの負傷又は疾病が治った後に傷害が残ったときの傷害見舞金及び負傷又は疾病に直接起因する死亡に対する死亡見舞金が給付されます。なお、学校の管理下とは、次の場合をいいます。

①授業中	③始業前、休み時間、放課後
②課外指導中(学校行事、生徒会活動等)	④通常の経路及び方法による通学中

(2)共済掛金(年額)

保護者等負担額 220円 ※掛金は受講手続きの際の諸経費に含まれています。

感染症にり患した場合、災害共済給付の対象となる負傷や疾病が生じた場合、担任又は保健室にご連絡ください。

27. 携帯メールによる連絡網登録のお願い

本校では昨年度より一斉メール配信システムを利用しています。特に毎日学校に来ることのない通信制の生徒、保護者の皆さんにとっては重要な連絡手段となります。天候等による急な時間変更など、メール配信システムを利用する機会が多々考えられますのでまだ登録が済んでいない方はぜひ、登録してください。登録の仕方についてはルームにより異なりますので、学校にお問い合わせください。

また、現在登録されている方も、ルームが変わった場合には、新たに登録が必要になります。詳細については学校にお問い合わせください。

なお、登録されたアドレスは個人情報として管理し、管理者からのメール配信以外に使用いたしません。



28. ホームページについて

アドレス

<https://teitsu.hamakou.ed.jp/>

大切なお知らせや、日々の活動の様子、また学習支援として服飾手芸の編み物の動画を掲載しています。この学習のてびきも載せています。ぜひ、見てください。



29. 資料

各講座ごとの学習内容と目標（前期）

※スクーリング日は変更の可能性があります。

国語総合（前） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○「海流 ミクロネシア」 （随想1） ○気になる言い方①（表現） ○古文の道しるべ1 古文に親しむ（古文入門） ○「春風や」（俳句・言語活動）	・見聞から生じた筆者の思いを読み取る。 ・言葉の正しい使い方を理解する。 ・仮名遣いについて理解し、主要な古典作品の冒頭にふれる。 ・俳句を鑑賞する。創作する。	本S①② 火S①
第2回	○「未来をつくる想像力」 （評論1・言語活動） ○気になる言い方②（表現） ○「児のそら寝」（古文入門）	・根拠とともに筆者の主張をつかむ。自分の意見を持つ。 ・言葉の正しい使い方を理解する。 ・仮名遣いに習熟し説話世界の面白さを知る。	本S③④ 火S②③
第3回	○「二十億光年の孤独」 「冬が来た」（詩） ○「用光と白波」 古文の道しるべ2（古文入門）	・詩の表現方法と主題について理解し、鑑賞する。 ・昔の人々の考え方や感受性にふれるとともに文法事項（品詞等）について理解する。	本S⑤ 火S④⑤
第4回	○「亀山殿の御池に」（随筆） ○訓読の基本（漢文入門）	・比較を通して筆者の主張を読み取るとともに文法事項（動詞等）について理解する。 ・漢文における決まりを理解し、現在の日本でも使用される格言への理解を深める。	本S⑥ 火S⑥⑦
第5回	○「鍋洗いの日々」 （働くということ） ○「その子二十」（短歌） ○「株を守る」「五十歩百歩」 （漢文入門）	・筆者の努力や仕事に対する思いを読み取り、自らの生き方の参考とする。 ・短歌を鑑賞する。 ・漢文に習熟し、現在の日本でも使用される故事成語の由来や意味を知る。	本S⑦⑧ 火S⑧⑨
第6回	○「羅生門」（小説3） ○「雪のおもしろう降りたりし朝」 ・通知文（随筆・言語活動）	・極限状態における人間心理を展開に即して読み取り、作品の主題について理解する。 ・筆者のものの考え方や感じ方を理解するとともに手紙の書き方について学ぶ。	本S⑨⑩ 火S⑩⑪

※1 漢字の書き取りは、楷書ではっきり大きく書いてください。

※2 字数制限のある問題は8割以上埋めてください。句読点も一字とします。

現代文B（前） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○自己を見つめる（随想） 「私はあなただったかもしれない」 ○小説「話を聞かせて」	・筆者の体験に基づいた職業人としての指針を読み取り、人生観を豊かにする。 ・背景を理解した上で、登場人物の心理を、対話や描写を通して理解する。 ・恋人が示した新たな視点が物語の展開の上で持つ意味を考える。	本S①② 火S①

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第2回	○随想「新しい地球観」	<ul style="list-style-type: none"> 宇宙飛行士による宇宙的視点に立った地球観を通して、新しいものの見方を知る。 地図の違いがものの見方を反映したものであることを読み取り、「オーサグラフ地図の世界観」を理解する。 	本S③④ 火S②③
第3回	○随想 「情けは人の・・・」	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の言葉に対するこだわりや愛着を読み取ることを通して、自分の言語生活を振り返る。 本文中のことわざや慣用句を正しく理解し、語彙を増やす。 	本S⑤ 火S④⑤
第4回	○小説 「相棒」	<ul style="list-style-type: none"> 時間の経過とともに変化する登場人物の心理や行動を読み取り、ともに働くことを通して結ばれる人とのつながりや信頼について理解する。自己の職業観を豊かにする。 	本S⑥ 火S⑥⑦
第5回	○随想 「ワスレナグサ」	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の構成を把握しながら、大自然と人間の関わりやそれにつながる筆者の自然観や人生観を読み取る。 「ワスレナグサ」という名の小さな自然への人間の思いを知る。 	本S⑦⑧ 火S⑧⑨
第6回	○詩 「そこにひとつの席が」 「この世」 「永訣の朝」	<ul style="list-style-type: none"> 詩を何度も朗読し、それぞれの詩の世界を味わい、表現の特色を理解する。 それぞれの詩の表現がどのように内容と結びついているか読み取る。 それぞれの詩のキーワードを見つけ、そこに込められた筆者の思いを感じ、理解する。 	本S⑨⑩ 火S⑩⑪

※1 漢字の書き取りは、楷書ではっきり大きく書いてください。

※2 字数制限のある問題は8割以上埋めてください。句読点も一字とします。

古典（前） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○「小式部内侍が大江山のこと」説話 ○「公世の二位のせうとに」随筆(→) ○「推敲」故事・寓話	<ul style="list-style-type: none"> 和歌の表現方法を理解し、平安貴族にとっての和歌の意義を理解する。 本文を展開に即して読み取り、良覚僧正の人物像にせまる。 漢文の決まりを再確認するとともに故事成語への理解を深める。 	本S①② 火S①
第2回	○「かぐや姫の昇天」物語(→) ○「朝三暮四」故事・寓話	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の心情を読み取るとともに天人の超現実性の描かれ方を理解する。 句形への理解を深め、正確に現代語できるようにする。 	本S③④ 火S②③
第3回	○「初冠」物語(→) ○「鼓腹撃壤」古代の史話	<ul style="list-style-type: none"> 歌に詠まれた心情を読み取るとともに作者の、男の行為に対する見方を理解する。 帝である堯の人柄と治政はどのように表現されているか読み取る。 	本S⑤ 火S④⑤

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第4回	○「ゆく川の流れ」随筆(一) ○「絶句」「春夜」「門を出でず」漢詩の鑑賞	・音読し、和漢混交文の魅力を味わう。作者のもの見方、感じ方を理解する。 ・漢詩のリズムと決まりを再確認し、詩によまれた情景・心情・思想を読み取る。	本S⑥ 火S⑥⑦
第5回	○『万葉集』『古今和歌集』 『新古今和歌集』和歌 ○「盍ぞ各爾の志を言はざる」諸家の思想 ○「胡蝶の夢」諸家の思想	・和歌の技巧と主題を理解し、時代の変遷に伴う各歌集の特徴を確認する。 ・子路・顔淵・孔子それぞれの考えを整理し、「志」について理解を深める。 ・荘子の思想について理解する。	本S⑦⑧ 火S⑧⑨
第6回	○「門出」日記 ○「鴻門の会」項羽と劉邦	・文法に注意しながら本文を読み、少女の憧れや感受性の鋭さを理解する。 ・緊迫した状況下における登場人物たちの行動や心情を読み取る。	本S⑨⑩ 火S⑩⑪

※ 字数制限のある問題は8割以上埋めてください。句読点も一字とします。

世界史B（前） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	文明誕生 オリエント世界と地中海	人類の誕生、オリエント文明の誕生拡大、ローマ帝国を中心とした地中海世界がどのように形成されたかを学び、人類の進化について考察し理解する。	本S①② 火S①
第2回	アジア世界の形成	古代中国やインドがどのように形成され、拡大発展していったのかを学び、当時の日本との関係についても整理し理解する。	本S③ 火S②③
第3回	イスラーム世界の形成と拡大	イスラーム世界がどのように形成され、拡大発展していったのかを学び、今日イスラーム教が世界最大規模の宗教になった理由を理解・説明できる。	本S④⑤ 火S④⑤
第4回	東アジア世界の変容とモンゴル帝国	中国王朝と北方異民族との関係を通して、東アジアがヨーロッパやイスラーム世界とどのようにかわりを持って行ったかを学び、グローバルな視点から物事をとらえる力を身につける。	本S⑥ 火S⑥⑦
第5回	ヨーロッパ世界の形成と拡大	ローマ帝国の崩壊後に、中世ヨーロッパがどのように形成され拡大していったかを学び、ヨーロッパの今日的な課題の根本的原因がどこにあるかを理解する。	本S⑦⑧ 火S⑧⑨
第6回	ヨーロッパ諸国の中央集権化、ヨーロッパ世界の拡大と北米大陸	ヨーロッパの中央集権化への動き、大航海時代、ルネサンス、宗教改革を通じて、どのように拡大発展していったかを学び、現代社会との関りについて理解する。	本S⑨⑩ 火S⑩⑪

日本史B（前） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	原始社会の生活と文化、農耕社会の形成と大陸文化の摂取	<ul style="list-style-type: none"> ・気候や地形、動植物相・植生の変化などの自然環境に着目し、人々の食料獲得方法や道具の変遷、呪術的風習、地域的な差異等を理解できる。 ・集落立地、食料獲得方法と食生活の変化、富の蓄積、習俗や墓制の推移等の社会の変化を理解できる。 	本S①② 火S①
第2回	律令国家の形成と古代文化の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジア世界が大きく変動するなか、推古朝の国政改革が進み、仏教を基調とする文化が花開いたことを理解できる。 ・大化改新を経て、律令国家が形成される過程や律令制のしくみについて理解し、奈良時代の政治の動向について理解できる。 	本S③④ 火S②③
第3回	摂関政治と文化の和様化	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原氏による摂関政治が始まり、地方政治が転換するなか、武士団の形成が始まったことを理解できる。 ・11世紀以降、公領の変質や荘園の拡大が進んだことや院政のしくみについて理解し、武家政権としての平氏政権が成立したことを理解できる。 	本S⑤ 火S④⑤
第4回	中世社会の成立、武家社会の形成と東アジア（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の成立過程や元寇、幕府内で得宗の力が強まったこと、新しい文化が広がったことなどを理解できる。 ・倭寇の活動を背景にして、日明貿易・日朝貿易が展開したこと、また庶民の活動が従来の社会秩序を変える原動力になったことなどを理解できる。 	本S⑥ 火S⑥⑦
第5回	武家社会の形成と東アジア（2） ヨーロッパ文化との接触と国内統一	<ul style="list-style-type: none"> ・室町幕府の衰退とともに戦国時代に入り近世への移行が始まったこと、室町時代の文化を理解できる。 ・鉄砲やキリスト教の伝来、織豊政権による国内統一過程などについて理解できる。 	本S⑦⑧ 火S⑧⑨
第6回	幕藩体制の成立、近世社会の発達と町人文化	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の組織と大名統制、朝廷・寺社統制など、幕藩体制の特色について理解できる。 ・17世紀中ごろ、強圧的な武断政治から学問などを尊重する文治政治に転換したことを理解できる。 	本S⑨⑩ 火S⑩⑪

地理B（前） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	さまざまな地図と地理的技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の球体としての特徴とこれを地図に表現した場合の長所短所、時差の計算法を理解できる。 	本S①② 火S①

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第2回	世界の地形	・世界の大地形、小地形、その他の地形について、人間生活との関わりなどを理解できる。	本S③④ 火S②③
第3回	世界の気候	・世界の気候について、その成因、各気候区の特徴について、人間生活への影響などを理解できる。	本S⑤ 火S④⑤
第4回	世界の農林水産業、食料問題	・自然環境との関わりやグローバル化の視点から、産業がどのように発達し変化しているかについて、理解できる。	本S⑥ 火S⑥⑦
第5回	世界のエネルギー・鉱産資源、資源・エネルギー問題、世界の工業	・資源・エネルギー問題について、系統地理的にとらえる視点や考察方法を理解できる。	本S⑦⑧ 火S⑧⑨
第6回	第3次産業、世界の人口、人口問題	・世界の人口問題について、人口問題の実態を系統地理的にとらえる視点や考察方法を理解できる。	本S⑨⑩ 火S⑩⑪

◆注意事項

- ・着色が必要な部分があります。色鉛筆を用意しておきましょう。
- ・地図や統計が教科書のものより古い場合がありますので、注意してください。

現代社会（a）【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	現代に生きる私たちの課題	現代における地球環境問題を知り、私たちが取り組むべき課題について学び、解決方法を考え行動していくことが出来る。	本S①②③ 火S①②③
第2回	情報社会の進展と生活よりよく生きることを求めて	情報化社会を生き抜くための知識・理解を深め、今日的課題の解決へ向かって努力していくことが出来る。少子高齢化社会に対して、各自で解決方法を考え行動していくことが出来る。	本S④⑤⑥ 火S④⑤⑥⑦
第3回	憲法と民主政治	近代憲法の成立過程を学び、民主政治の基本的理念が何かを学びます。その上で、日本国憲法の私たちと深く結びついている内容から、よりよく生きていくための方法について考え行動することが出来る。	本S⑦⑧⑨⑩ 火S⑧⑨⑩⑪

現代社会（b）【単位：1 レポート回数：3 スクーリング回数：2 試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	憲法と民主政治	近代憲法の成立過程を学び、民主政治の基本的理念が何かを理解し、日本国憲法が私たちの暮らしと深く結びついていることを理解する。それを踏まえて、現代社会でよりよく生きていくための方法について考えを深め課題解決に向かって行動することが出来る。	本S①②③ 火S①②③

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第2回	現代の経済と国民福祉	経済の仕組みと産業構造を学び、消費者・労働者の立場で、問題点や取り組むべき課題について考える。そして、その課題を自らの事として捉え、積極的に取り組む意識と解決に向かって行動することが出来る。	本S④⑤⑥ 火S④⑤⑥⑦
第3回	国際社会と人類の課題	今日的な政治・経済の国際問題を学び、グローバル社会を生き抜くためにはどのように取り組むべきか考え行動することが出来る。	本S⑦⑧⑨⑩ 火S⑧⑨⑩⑪

政治・経済（a） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	民主政治の基本原則、日本国憲法の基本原則、日本の政治機構	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治の歴史的展開を理解し、現代の民主主義の特徴を理解できる。 日本国憲法の成立過程や内容について理解し、自由権や社会権、新しい人権等について理解できる。 三権分立の考え方について認識し、それぞれの役割やしきみについて理解できる。 	本S①③ 火S①③
第2回	現代政治の特質と課題、現代の国際政治	<ul style="list-style-type: none"> 日本の選挙制度の歴史と現状を理解し、国民の政治意識について理解できる。 国際連盟の限界と目的・機能について理解し、核軍拡競争と反核運動の流れを理解できる。 	本S⑤ 火S⑤⑦
第3回	現代の資本主義経済、現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動について理解し、資本主義経済の特徴とその発達歴史について理解できる。 三つの経済主体と経済活動の流れを理解し、需要と供給のしくみ、通貨と金融の役割および中央銀行の金融政策について理解できる。 	本S⑦⑨ 火S⑨⑩

政治・経済（b） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	日本経済の発展と産業構造の変化、福祉社会と日本経済の課題	<ul style="list-style-type: none"> 高度経済成長の要因やその後の産業構造の高度化、バブル後の経済状態について理解できる。 公害の原因と政府の公害対策、消費者問題や農業の現状、労働問題などを理解できる。 	本S② 火S②
第2回	国民経済と国際経済	自由貿易の考え方と歴史を認識し、自由貿易をめぐる現状の課題について考えることができる。	本S④⑥ 火S④⑥
第3回	日本社会の諸課題、国際社会の諸課題	日本社会の諸課題や国際社会の諸課題について考察できる。	本S⑧⑩ 火S⑧⑩

数学 I (1) 【単位：1、レポート回数：4、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	文字を使った式 整式、整式の加法・減法 整式の乗法 乗法公式、因数分解	整式の加減乗除の計算を練習し、乗法公式および因数分解の公式を理解し、式を多面的に見たり目的に応じて変形できる。	本S①② 火S①②
第2回	根号を含む式の計算 数の分類	数には、自然数、整数、有理数、無理数、実数とさまざまな種類の世界があることを知るとともに、それを用いて四則計算ができる。無理数の計算にもチャレンジする。	本S③④⑤ 火S③④⑤⑥
第3回	1次方程式 不等式、不等式の性質 不等式の解き方 不等式の利用 2次方程式とその解き方 連立不等式	方程式や不等式の意味を理解し、式を用いて表現できる。さらに、2次方程式の解き方を学ぶ。	本S⑥⑦⑧ 火S⑦⑧⑨⑩
第4回	集合、命題と集合 命題と証明 背理法を用いた証明	多くの事柄が集合を用いて表せることを知るとともに、いろいろな命題を証明することにより論理的に考える方法を身に付ける。	本S⑨⑩ 火S⑪

数学 I (2) 【単位：2、スクーリング回数：2、レポート回数：6、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	関数 2次関数とそのグラフ	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現する。	本S①② 火S①②
第2回	2次関数の最大値・最小値	グラフを用いて、最大値、最小値を求め、具体的な事象の考察に活用できる力を養う。	本S③④ 火S③④
第3回	2次関数のグラフと2次方程式 2次関数のグラフと2次不等式	2次方程式の解や2次不等式の解をグラフを用いて解く。	本S⑤ 火S⑤⑥
第4回	三角形 タンジェント、サインとコサイン 三角比の利用 三角比の相互関係	三角比の意味やその基本的性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識する。	本S⑥ 火S⑦⑧
第5回	三角比と座標 三角形の面積 正弦定理 余弦定理 鈍角の三角比と計量	正弦定理や余弦定理を具体的な問題の解決や測量などに活用することを通して、数学のよさを認識する。	本S⑦⑧ 火S⑨⑩
第6回	データと度数分布表 代表値 四分位数と箱ひげ図 分散と標準偏差 相関関係、相関係数	様々な事象から見出される確率や統計に関するデータを整理し、いろいろな観点から分析し、数学的に考察する力を身に付ける。	本S⑨⑩ 火S⑪

数学Ⅱ（前） 【 単位：2、スクーリング回数：2、レポート回数：6、試験：1 】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	3次の乗法公式と因数分解・ 二項定理 分数式とその計算 複素数	3次式の展開と因数分解の公式を用いる解き方を学ぶ。複素数という新しい世界を知り、複素数の四則計算をマスターする。	本S①② 火S①②
第2回	2次方程式 解と係数の関係 整式の除法と因数定理 高次方程式	複素数により必ず2次方程式が解けることを理解する。整式の除法をマスターし、因数定理を用いて因数分解や高次方程式が解けることを理解する。	本S③④ 火S③④
第3回	等式の証明 不等式の証明	等式や不等式を証明することにより、筋道を立てて問題を解決する。	本S⑤ 火S⑤⑥
第4回	直線上の点の座標 平面上の点の座標 直線の方程式	座標を用いて、直線や平面上の点の位置を考える。 座標平面上の直線を方程式で表す。	本S⑥ 火S⑦⑧
第5回	2直線の関係 円の方程式 円と直線	直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現する。	本S⑦⑧ 火S⑨⑩
第6回	不等式の表す領域 連立不等式の表す領域	不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解する。	本S⑨⑩ 火S⑪

数学A（前） 【 単位：1、スクーリング回数：2、レポート回数：3、試験：1 】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	集合、集合の要素と個数 和の法則、積の法則	集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解する。	本S①②③ 火S①②③④
第2回	順列、順列の利用、重複順列、円順列、組合せ、組合せの利用、道順の問題	具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求める。	本S④⑤⑥ 火S⑤⑥⑦
第3回	確率の意味、確率の計算、確率の加法定理、余事象の確率、独立な試行の確率、反復試行の確率、条件付き確率	身近にある不確定な事象を数量的にとらえる確率の学習を通して、不確定なものをとらえる数学の考え方など数学のよさを知る。	本S⑦⑧⑨⑩ 火S⑧⑨⑩⑪

数学入門 【 単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：4、試験：1 】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	整数の計算、性質、分数の性質、加法と減法、乗法と減法	整数、分数の基礎的な四則計算をくりかえし練習し、計算力を身に付ける。	本S①② 火S①②
第2回	正の数・負の数の加減乗除、文字式のきまり、文字式の値	負の数の世界を認識し、正の数、負の数の四則計算について練習する。	本S③④ 火S③④
第3回	整式の加法と減法・指数法則、整式の乗法と除法	整式の加減乗除について学習し、式の見方を豊かにする。	本S⑤ 火S⑤⑥
第4回	乗法公式、因数分解	乗法公式を用いて式の展開を学習する。因数分解は展開の逆の方法であることを理解し、因数分解の公式をマスターする。	本S⑥ 火S⑦⑧

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第5回	1次方程式の解き方、1次方程式の応用、連立2元1次方程式、根号を含む式の計算	1次方程式、連立2元1次方程式の解き方を学び、マスターする。さらに、平方根について理解する。	本S⑦⑧ 火S⑨⑩
第6回	2次方程式、座標とグラフ、1次関数のグラフ	2次方程式の解き方を学ぶ。関数の定義を理解し、1次関数をグラフに書くことにより、数学的な見方を養う。	本S⑨⑩ 火S⑪

科学と人間生活（前） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○材料とその再利用 ・プラスチック ・金属	・プラスチックや金属などの製品の種類、性質および用途や資源の再利用について理解する。	本S①③ 火S①③
第2回	○材料とその利用 ・セラミック ○熱の性質とその利用 ・熱とは何か	・セラミックスの種類、性質および用途と資源の再利用について理解する。 ・熱の性質について理解する	本S⑤ 火S⑤⑦
第3回	○熱の性質とその利用 ・熱とは何か ・エネルギーの利用	・熱の性質やエネルギーの移り変わりについて学習する。	本S⑦⑨ 火S⑨⑪

物理基礎（前） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○直線運動の世界	・速度、加速度を用いた計算ができる	本S② 火S②④
第2回	○力と運動の法則	・力の図示と大きさの計算ができる。 ・運動方程式の導出と計算ができる。	本S④⑥ 火S⑥⑧
第3回	○仕事とエネルギー	・仕事の計算ができる。 ・力学的エネルギーと仕事の関係を理解し計算できる。	本S⑧⑩ 火S⑩

化学基礎（前） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○物質の探求 ・物質の性質と分離 ・物質の成分	・物質の分離・精製やその成分を調べて、理解する。	本S② 火S②④
第2回	○物質の構成粒子 ・原子の構造 ・電子配置と周期表	・物質を構成する基本粒子である原子・分子・イオンについて理解する。	本S④⑥ 火S⑥
第3回	○物質と化学結合 ・イオンとイオン結合 ・金属と金属結合 ・分子と共有結合	・原子・分子・イオンがどのように結合しているか理解する。	本S⑧⑩ 火S⑧⑩

生物基礎（前） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○生物の特徴 ・生物の多様性と共通性 ・生命活動とエネルギー	・生物の体をつくる細胞の共通性と多様性を理解する。 ・エネルギーの取り出しや利用から細胞のはたらきを学ぶ。	本S①③ 火S①③
第2回	○遺伝子とそのはたらき ・生物と遺伝子 ・遺伝情報の分配 ・遺伝情報とタンパク質の合成	・遺伝子の本体DNAについて学習し、遺伝子がどのように分配されるか、またタンパク質の合成について学習する。	本S⑤ 火S⑤⑦
第3回	○生物の体内環境の維持 ・体内環境の維持	・体の中の環境を一定に保つしくみをもつ心臓 ・肝臓・腎臓について学習し、しくみについて理解する。	本S⑦⑨ 火S⑨⑩

体育1（前） 【単位：1、レポート回数：1、スクーリング回数：5、試験：1(実技試験のみ)】

回	学習の内容	学習の目標	実技について
第1回	◎体育理論 ○「運動・スポーツの文化的特徴」 1 人間にとって「動く」とは何か 2 スポーツの始まりと変遷 3 文化としてのスポーツ 「スポーツ種目の概要とルール」	○スポーツの歴史、文化的特徴について理解する。 ○スポーツ競技別の歴史やルールについて理解し、スポーツに親しむ。	体育館内で、主に「卓球」、「バドミントン」、「バスケットボール」、「バレーボール」の4種目を同時に選択展開します。ストレッチングやニュースポーツにも取り組みます。

体育2（前） 【単位：1、レポート回数：1、スクーリング回数：5、試験：1(実技試験のみ)】

回	学習の内容	学習の目標	実技について
第1回	◎体育理論 ○「運動・スポーツの学び方」 1 スポーツの技術と戦術 2 技能の上達過程と練習 3 効果的な動きのメカニズム	○運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。 ○運動の技術や技能、身体のメカニズムについて理解を深める。	体育1と同じ

体育3（前） 【単位：2、レポート回数：2、スクーリング回数：10、試験：1(実技試験のみ)】

回	学習の内容	学習の目標	実技について
第1回	◎体育理論 ○「運動・スポーツの学び方」 4 技能と体力 5 体力トレーニング ○「スポーツ種目の概要とルール」	○運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。 ○体力についての概要を知り、運動やスポーツの技能についての段階的・効果的なトレーニング方法を理解する。 ○スポーツ種目の概要やルールについて理解し、スポーツに親しむ。	体育1と同じ

回	学習の内容	学習の目標	実技について
第2回	◎体育理論 ○「豊かなスポーツライフの設計」 1 生涯スポーツの見方・考え方 2 ライフスタイルに応じたスポーツ	◎豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する。 ○各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた楽しみ方を知る。 ○ライフスタイルに応じた様々なスポーツライフを知り、「マイスポーツライフ」を考えることができる。	体育1と同じ

体育4（前） 【単位：1、レポート回数：1、スクーリング回数：5、試験：1(実技試験のみ)】

回	学習の内容	学習の目標	実技について
第1回	◎体育理論 ○「運動・スポーツの学び方」 6 運動やスポーツでの安全の確保 ○「スポーツ種目の概要とルール」	○スポーツの歴史、文化的特徴について理解する。 ○運動やスポーツにおける怪我や病気を予防する方法についての理解を深める。 ○スポーツ種目の概要やルールについて理解し、スポーツに親しむ。	体育1と同じ

体育5（前） 【単位：1、レポート回数：1、スクーリング回数：5、試験：1(実技試験のみ)】

回	学習の内容	学習の目標	実技について
第1回	◎体育理論 ○「豊かなスポーツライフの設計」 3 日本のスポーツ振興	○豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する。 ○日本のスポーツ振興やその伴う環境にもたらす影響について理解し、考えを深めることができる。	体育1と同じ

「体育実技」について

- ①「体育」の授業（スクーリング）は、体育館内で、卓球やバドミントンを中心とした運動実技を展開します。
- ②通常の「体育」スクーリング時には、教科書やレポート、筆記用具を持参しなくても結構です。体育館用運動シューズ、季節に応じた運動のできる服装（ジャージ）を必ず準備してください。
- ③前期・後期の試験は、実技のみですので、原則レポート内容の筆記試験はありません。身体的な特殊事情（妊娠中や骨折治療中など）がある場合のみ、特別に筆記試験を実施します。万が一該当する場合には、事前に学校（担任もしくは体育担当教員）まで連絡してください。

保健（前） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：1、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○「現代社会と健康」 1 私たちの健康のすがた～ 11 薬物乱用と健康	○健康の考え方～薬物乱用の問題まで、個人や社会に及ぼす影響や現状を理解し、自ら予防・防止について考えることができる。	本S② 火S②④
第2回	○「現代社会と健康」 12 現代の感染症～ 18 心の健康と自己実現	○感染症～精神の健康の問題まで、個人や社会的に及ぼす影響や現状を理解し、自ら予防・防止について考えることができる。	本S④⑥ 火S⑥⑧

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第3回	○「現代社会と健康」 19 交通事故の現状と要因～ 24 日常的な応急手当	○交通安全～応急手当の問題までの概要を知り、傷害や疾病の悪化を防ぐことについて考えることができる。	本S⑧⑩ 火S⑩

美術Ⅰ（前） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	鉛筆デッサン (鉛筆)	鉛筆や色鉛筆などの素描材料の使用法を学習し、筆触や色彩の効果について工夫しながら、自分らしい表現を探求することができる。	毎時間 レポート支援
第2回	色彩理論 (水彩)	色彩の基礎知識を学習。色の基本的な要素を学び、それを使って類似や対照、面積や配置など配色の演習を行い、今後のデザイン、絵画制作に活かすことができる。	
第3回	色彩構成 (水彩)	色彩の基礎知識を学習。色の基本的な要素を学び、それを使って類似や対照、面積や配置など配色の演習を行い、今後のデザイン、絵画制作に活かすことができる。	

美術Ⅱ（前） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	幾何形体と立体表現	直方体（箱やレンガなど）、円柱（コップや瓶など）といった人工物を、歪みを目立たなく描くことができる。	毎時間 レポート支援
第2回	鉛筆デッサン	鉛筆や色鉛筆などの素描材料の使用法を学習し、筆触や色彩の効果について工夫しながら、自分らしい表現を探求することができる。	
第3回	身近な静物を着彩で表現しよう	立体感と質感を意識して、色の変化を見つけて、モチーフ（対象）をよく観察し、生き生きとしっかり描くことができる。	

書道Ⅰ（前） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	書写から書道へ 楷書・行書	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組むことができる。	毎時間 レポート支援
第2回	行書・草書・隸書・篆書の特徴 楷書の比較	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組むことができる。	
第3回	臨書・鑑賞 毛筆・硬筆臨書	書のおよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫することができる。	

書道Ⅱ（前） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	書の変遷 中国秦・漢時代	楷書の特徴を理解し、作品制作に取り組むことができる。 中国秦・漢時代の書の変遷を理解する。	毎時間 レポート支援
第2回	書の変遷 中国三国時代から南北朝時代	行書・草書の特徴を理解し、作品制作に取り組むことができる。 中国三国時代から南北朝時代の書の変遷を理解する。	
第3回	書の変遷 中国五代・宋・清時代以降	隸書の特徴を理解し、作品制作に取り組むことができる。 中国五代・宋・清時代以降の書の変遷を理解する。	

C英語Ⅰ（前） 【単位：1、レポート回数：4、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	Warm-Up 1～3 教室で使う表現、辞書の使い方 Pre-Lesson 1～2 be動詞、一般動詞（現在形）	<ul style="list-style-type: none"> ・教室で使う英語の表現を理解している。 ・辞書の使い方を理解している。 ・自己紹介で自分のことについて英語で表現することができる。 	本S① 火S①
第2回	Lesson 1 be動詞、一般動詞（過去形） Lesson 2 現在進行形、過去進行形	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことや過去のことについて英語で表現することができる。 ・進行形の使い方を理解している。 ・好きな人物について英語で表現することができる。 	本S②③④ 火S②③④⑤
第3回	Lesson 3 助動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・海外での日本文化のとらえられ方を理解している。 ・未来のことやできることについて、助動詞を使って英語で表現することができる。 	本S⑤⑥⑦ 火S⑥⑦⑧⑨
第4回	Lesson 4 to不定詞	<ul style="list-style-type: none"> ・行ってみたい場所やしてみたいことについて英語で表現することができる。 	本S⑧⑨⑩ 火S⑩⑪

C英語Ⅱ（前） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：8、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	Lesson 1 比較表現	<ul style="list-style-type: none"> ・比較表現について基本的な使い方を理解している。 ・身近なことについて簡単な英語で表現することができる。 	本S① 火S①
第2回	Lesson 2 関係代名詞 what	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 whatについて基本的な使い方を理解している。 ・自分のことを簡単な英語で表現することができる。 	本S②③ 火S②③

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第3回	Lesson 3 間接疑問文	<ul style="list-style-type: none"> 間接疑問文について基本的な使い方を理解している。 動物や環境についての英文を読んで要点を理解することができる。 	本S④ 火S④⑤
第4回	Lesson 4 現在分詞、過去分詞	<ul style="list-style-type: none"> 分詞について基本的な使い方を理解している。 科学技術の発達や未来の社会についての英文を読んで要点を理解することができる。 	本S⑤ 火S⑥⑦
第5回	Lesson 5 不定詞を含む表現	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞を含む表現について基本的な使い方を理解している。 日本の伝統文化についての英文を読んで要点を理解することができる。 	本S⑥⑦ 火S⑧⑨
第6回	Lesson 6 動詞の目的語になるif節	<ul style="list-style-type: none"> if節を含む表現について基本的な使い方を理解している。 自然や環境についての英文を読んで要点を理解できる。 	本S⑧⑨⑩ 火S⑩⑪

英語表現Ⅰ（前） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	Lesson 1 ～ Lesson 4 文構造、現在形、過去形 進行形、未来表現	テーマの文法事項が使われた自己紹介、近況報告や今後の予定について英語で理解することができる。	本S①②③ 火S①②③
第2回	Lesson 5 ～ Lesson 7 現在完了、過去完了 助動詞①	テーマの文法事項が使われた自分の好きなことや現在や過去の出来事について英語で理解することができる。また、学校の規則について英語で理解することができる。	本S④⑤ 火S④⑤⑥⑦
第3回	Lesson 8 ～ Lesson 10 助動詞②、受け身 to不定詞	テーマの文法事項が使われた過去の習慣について英語で理解することができる。また、人やものについて、その特徴を英語で理解することができる。	本S⑥⑦⑧⑨ ⑩ 火S⑧⑨⑩⑪

英語入門（1） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	Lesson 1 ～ Lesson 3 ・アルファベット、人称代名詞、あいさつの表現 ・be動詞（現在形）の疑問・否定文、所有格	<ul style="list-style-type: none"> 辞書の使い方がわかる。 自己紹介や挨拶について英語で表現することができる。 	本S①②③ 火S①②③
第2回	Lesson 4 ～ Lesson 5 ・be動詞と一般動詞の区別、三単現のs、 ・名詞の複数形、代名詞とその複数形	<ul style="list-style-type: none"> be動詞を使った疑問文や否定文を作ることができる。 写真や人物について英語で表現することができる。 	本S④⑤ 火S④⑤⑥⑦

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第3回	Lesson 6 ～ Lesson 7 ・一般動詞（現在形）の疑問文、否定文 ・do / doesの使い分け、会話表現	・一般動詞を使った疑問文や否定文を作ることができる。 ・自分が持っているものや好きな物について英語で表現することができる。	本S⑥⑦⑧⑨⑩ 火S⑧⑨⑩⑪

英語入門（2） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	Lesson 8 ～ Lesson 9 ・There is（There are）～. の構文、前置詞 ・疑問詞を使った疑問文	・物がある場所について英語で表現することができる。 ・疑問詞を用いた英文を作ることができる。	本S①②③ 火S①②③
第2回	Lesson 10 ～ Lesson 12 ・現在進行形、その疑問文や否定文 ・疑問詞 whose、所有代名詞、助動詞、命令文	・現在進行中の動作について英語で表現することができる。 ・所有物について英語で尋ねることができる。 ・助動詞を用いた英文を作ることができる。	本S④⑤ 火S④⑤⑥⑦
第3回	Lesson 13 ～ Lesson 15 ・be動詞の過去形、その疑問文・否定文、副詞 ・一般動詞の過去形、その疑問文・否定文	・過去の出来事について英語で表現することができる。 ・過去形を用いた疑問文や否定文を作ることができる。	本S⑥⑦⑧⑨⑩ 火S⑧⑨⑩⑪

社会と情報（前） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	私たちを取り巻く環境	情報とは何かを理解し、収集した情報を活用する力を身につける。	本S①③ 火S①
第2回	アナログからデジタル情報の表現と伝達	アナログとデジタルの違いを理解し、コンピュータを活用する力を身につける。	火S⑤ 火S⑦
第3回	インターネットの活用	インターネットを利用する上での注意点を理解し、正しく活用する方法やモラルを身につける。	本S⑦⑨ 火S⑩

消費生活（前） 【単位：2、レポート回数：4、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	第1章 社会を支える消費者 実践課題 ①地域の相談窓口を確認する ②社会の変化と新しい商品・サービスを考える	国民経済と家庭経済の関わりについて理解し、過去の消費問題をとおして消費者が留意すべきことを考えることができる。	本S①② 火S①②

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第2回	第2章 消費者被害と消費者の権利・責任 実践課題 消費者行政のホームページを見よう	消費者が被害を受ける理由を解消し、消費者の権利と責任について考えることができる。	本S③④⑤ 火S③④⑤⑥
第3回	第3章 消費者の安全と自由 実践課題 牛肉の個体識別番号を調べる	消費者の安全と自由の確保のための社会のシステムを理解し、被害を防ぐ方法を考えることができる。	本S⑥⑦ 火S⑦⑧⑨
第4回	第4章 消費者の自立支援 第5章 環境と消費者 実践課題 環境を視点に生活を振り返る	消費者問題の防止や消費者被害の救済にあたって、行政の役割や関係法規を理解できる。持続可能な社会形成に向けて実践的な消費行動について考えることができる。	本S⑧⑨⑩ 火S⑩⑪

<注意事項>

レポートの作成について

①漢字は正しく楷書で記入してください。漢字の間違いは減点します。

子どもの発達と保育（前）【単位：2、レポート回数：5、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	第1章 子どもの発達の特性	子どもの発達の概念や心身の発達に必要なこと、また個人差があることを理解することができる。	本S①② 火S①②
第2回	第2章 子どもの発達過程1	誕生から幼児期までの発達の時期における特徴が理解できる。	本S③④ 火S③④
第3回	第2章 子どもの発達過程2	誕生から幼児期までの発達の時期における特徴が理解できる。	本S⑤⑥ 火S⑤⑥⑦
第4回	第2章 子どもの発達過程3	誕生から幼児期までの発達の時期における特徴が理解できる。	本S⑦⑧ 火S⑧⑨
第5回	第4章 子どもの保育 実践課題 子育てに関する考えを述べる	乳幼児の発育・発達に応じた適切な保育の重要性を理解できる。	本S⑨⑩ 火S⑩⑪

<注意事項>

レポート作成について

①漢字は正しく楷書で記入してください。漢字の間違いは減点します。

服飾手芸（前）【単位：1、レポート回数：2、スクーリング回数：3、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	刺しゅう（基礎）	フランス刺しゅうの基礎的な技法を習得する。	本S①③⑤ 火S①③⑤

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第2回	刺しゅう（応用）	基礎的な技法を活用して、生活に活用できる作品をつくる。	本S⑦⑨ 火S⑦⑨⑩

<注意事項>

①第1回は、刺しゅうキットを使用しますので、購入してください。

ビジネス基礎（前） 【単位：1、レポート回数：2、スクーリング回数：3、試験1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	商業のガイダンス 経済と流通の基礎 売買に関する計算	「ビジネスとは何か」を理解し、基本的な経済のしくみを知る。自分が普段どのような経済活動を行っているのか考える。 売買に関する基礎的な計算ができる。	本S②④ 火S②
第2回	ビジネスの担い手 売買に関する計算	様々なビジネスの担い手について理解する。 売買に関する応用的な計算ができる。	本S⑥⑧⑩ 火S⑥⑧⑩

簿記（前） 【単位：2、レポート回数：4、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	簿記の原理 貸借対照表と損益計算書	簿記の原理について理解し、企業が簿記を行う目的について理解する。また、貸借対照表と損益計算書を作成することができる。	本S①② 火S①
第2回	仕訳と転記 試算表の作成	企業にとっての取引とは何かを理解し、仕訳を示すことができる。総勘定元帳から試算表を作成することができる。	本S③④⑤ 火S③④
第3回	決算における手続き	決算の一連の手続きを理解し、精算表を作成することができる。また、総勘定元帳から繰越試算表を作成することができる。	本S⑥⑦ 火S⑥⑦
第4回	簿記で現金となるものは通貨以外にも	現金を用いる取引について仕訳を示すことができる。現金・預金に関する帳簿を作成することができる。	本S⑧⑨⑩ 火S⑨⑩

情報処理（前） 【単位：2、レポート回数：4、スクーリング回数：7、試験1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	第1章ビジネスと情報 第4章ビジネス文書の作成	コンピュータの基本機能と各装置の役割を理解する。 ワープロソフトで文字や文を入力する方法を身につける。	本S①② 火S①
第2回	第1章ビジネスと情報 第4章ビジネス文書の作成	パソコンの基本的な機能とその働きを理解する。 通信文書の種類と構成を理解し、作成できる。	本S③④⑤ 火S②⑤
第3回	第1章ビジネスと情報 第4章ビジネス文書の作成	よく利用するソフトウェアについて考える。 通信文書の種類と構成を理解し、作成できる。	本S⑥⑦⑧ 火S⑥⑦⑧
第4回	第1章ビジネスと情報 第4章ビジネス文書の作成	よく利用するソフトウェアについて考える。 報告書、提案書、リーフレットなどを作成するための技法を身につける。	本S⑨⑩ 火S⑩

各講座ごとの学習内容と目標（後期）

※スクーリング日は変更の可能性があります。

国語総合（後） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○「ルリボシカミキリの青」 （随想1・言語活動） ○「うつくしきもの」(随筆) ○「虎の威を借る」(漢文入門)	・筆者の体験談を通して、人生への考察を深める。スピーチの仕方を学ぶ。 ・古語の意味・用法にふれ、日本人の感覚・感性について理解を深める。 ・漢文世界の豊かさにふれる。	本S①② 火S①
第2回	○「絵仏師良秀」(古文入門) ○「春暁」「山行」「汪倫に贈る」 （唐詩） ○再読文字(漢文入門)	・近代小説のもととなった古典作品を読み、文学世界の豊かさにふれる。 ・優れた表現に親しみながら作品によまれた情景と作者の心情を理解する。 ・再読文字に習熟する。	本S③ 火S②③
第3回	○「里山物語」(随想2) ○「芥川」(物語)	・筆者の考え方を知り、自然と人間の関係性について学ぶ。 ・登場人物の心情を表現に即して読み取るとともに物語世界の面白さにふれる。	本S④⑤ 火S④
第4回	○「りんごのほっぺ」 （随想・言語活動） ○論語—八章(論語)	・戦時下の人々と作品に一貫する筆者の思いを読み取り、平和のために自分ができることを考え、伝える。 ・孔子の思想を通して、自己のものの見方や考え方を深める。	本S⑥ 火S⑤⑥
第5回	○「夢十夜」(小説3) ○「木曾の最期」(物語)	・非現実の世界を描いた小説を表現に即して読み深め、筆者の世界観と表現法について理解を深める。 ・リズムの豊かさにふれるとともに源義仲と今井兼平の絆の深さを理解する。	本S⑦⑧ 火S⑦⑧
第6回	○「真の自立とは」(評論2) ○「魏武刀を捉る」(史話)	・「自立」について考察する評論を読んで、自分の考えを持ち、視野を広げる。 ・話の展開に即して、内容を理解する力を身につける。史話の面白さを味わう。	本S⑨⑩ 火S⑨⑩

※1 漢字の書き取りは、楷書ではっきり大きく書いてください。

※2 字数制限のある問題は8割以上埋めてください。句読点も一字とします。

現代文B（後） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○小説 「こころ」1	・長い文章を内容把握しながら読み、小説のおもしろさを味わう。 ・効果的な比喻表現を理解することを通して、登場人物の心理変化や行動を読み取る。	本S①② 火S①
第2回	○小説 「こころ」2	・「私」の利己心がどのように表れているかを小説中から丹念に読み取る。 ・「私」とKの心のすれ違いを通して、自己と他者との関係について考える。	本S③ 火S②③

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第3回	○評論 「食と想像力」	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とタイ、猫と人間という対比から筆者の思索を読み取る。 ・身近な「猫缶」を視点に日本の食と経済ひいては日本社会のあり方を考える筆者の姿勢を学ぶ。 	本S④⑤ 火S④
第4回	○俳句と短歌 「折々のうた」	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句や短歌という日本固有の短詩形表現を味わい、作品の背景や心情を読み取る。 ・作品と鑑賞文との対応関係を理解し、より作品を深く理解する。 	本S⑥ 火S⑤⑥
第5回	○評論 「僕らの時代のメディア・リテラシー」	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会でよく使われる言葉やその概念を確認する。 ・メディア・リテラシーの意味用法を論の展開に注意しながら理解する。 ・現代においてメディア・リテラシーを身につけるためにはどうしたらよいか考える。 	本S⑦⑧ 火S⑦⑧
第6回	○小説 「山月記」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文訓読調の文体を味わい、作者の意図と内容を理解する。 ・登場人物、特に主人公李徴の人物像を読み取り、その生き方について考える。 ・虚構を使って人間の真実を描き出す小説の手法を味わう。 	本S⑨⑩ 火S⑨⑩

※1 漢字の書き取りは、楷書ではっきり大きく書いてください。

※2 字数制限のある問題は8割以上埋めてください。句読点も一字とします。

古典（後） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○「亀を買ひて放つ事」 伝承・逸話 ○「圜人の罪」逸話	<ul style="list-style-type: none"> ・不思議な話の展開を楽しみながら亀を助けた子が受けた恩恵について理解する。 ・晏子の諫め方の巧みさと景公が圜人を許した理由を読み取る。 	本S①② 火S①
第2回	○「姨捨」物語(二) ○「背水の陣」古代の史話	<ul style="list-style-type: none"> ・男の心情の変化とその理由を読み取るとともに当時の風習を知る。 ・韓信の作戦と漢軍が勝利した理由を整理する。故事成語の由来と意味を理解する。 	本S③ 火S②③
第3回	○「中納言参り給ひて」 随筆(二) ○「赤壁の戦ひ」三国志の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語に着目し、登場人物を整理する。最後の一文における作者の気持ちを理解する。 ・戦に至るまでの呉の動きと赤壁の戦いの経過 ・勝敗を分けた理由を理解する。 	本S④⑤ 火S④
第4回	○「若紫」物語(二) ○「死諸葛走生仲達」三国志の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・幼い若紫の人物像と光源氏、尼君等それぞれの思いを読み取る。 ・諸葛亮の日常や人物像を理解する。成語に込められた人々の心情を理解する 	本S⑥ 火S⑤⑥

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第5回	○「弓争い」物語(二) ○「七歩詩」「売炭翁」 漢詩の鑑賞	・道長と伊周の人物像をとらえる。競射のなりゆきと登場人物の心情を読み取る。 ・詩に込められた作者の思いを読み取り、作者への理解を深める。	本S⑦⑧ 火S⑦⑧
第6回	○「能登殿の最期」物語(二) ○「猫相乳」名家の文章	・リズムの豊かさを味わいながら能登殿と判官の人物像、新中納言の考え方を理解する。 ・前段と後段の関わりに注意しながら主題を正確につかむ。	本S⑨⑩ 火S⑨⑩

※ 字数制限のある問題は8割以上埋めてください。句読点も一字とします。

世界史B（後） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	主権国家の成立から市民革命へ	絶対王政の時代から市民革命がどのように起き、それがその後の世界に与えた影響について理解する。	本S①② 火S①
第2回	産業社会と国民国家の形成	産業革命と市民革命とが相まって社会構造が激変していく過程を理解する。	本S③ 火S②③
第3回	世界市場の形成とアジア諸国、世界の分割	産業革命によって、経済力が高い国家が軍事力を背景に他の小国を支配し、新たな世界秩序を形成していく過程を理解する。	本S④⑤ 火S④
第4回	二つの世界大戦 (前半)	第一次世界大戦がどのようにして起こり、戦後の国際関係の中でどのように第二次世界大戦へとつながっていったのかを理解する。	本S⑥ 火S⑤⑥
第5回	二つの世界大戦 (後半)	第一次世界大戦がどのようにして起こり、戦後の国際関係の中でどのように第二次世界大戦へとつながっていったのかを理解する。	本S⑦⑧ 火S⑦⑧
第6回	戦後世界の形成と変容、21世紀の課題	第二次世界大戦と戦後の秩序がどのように形成されていったのかを学び、今日的な諸問題の原因を理解し、解決に向けて努力していく方法を考え、解決していこうとする態度を身につける。	本S⑨⑩ 火S⑨⑩

日本史B（後） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	幕藩体制の動揺と庶民文化の発達	・財政難に直面した幕府では、享保の改革を経て田沼意次による改革が行われたことなどを理解できる。	本S①② 火S①
第2回	開国から明治へ	・ペリーの開国要求で鎖国政策が転換され、日米修好通商条約の締結によって始まった貿易が社会に混乱をもたらしたことなどを理解できる。	本S③ 火S②③
第3回	立憲政治の形成と国民文化、日本の近代化と東アジア	・士族反乱の鎮圧後、自由民権運動が活発化し、国会開設の勅諭が出された経緯や、大日本帝国憲法の制定後、初期議会で展開された政府と民党との対立の推移などを理解できる。	本S④⑤ 火S④

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第4回	デモクラシーと第一次世界大戦	・第一次世界大戦期に日本が中国侵略を進めたことと、大戦景気が産業と民衆に与えた影響などを理解できる。	本S⑥ 火S⑤⑥
第5回	激動する世界と日本	・満州事変が日中戦争へと発展し、日本がドイツとつながりを深めたことや、日中戦争が長期化するなかで国民生活が圧迫されたことなどを理解できる。	本S⑦⑧ 火S⑦⑧
第6回	占領と国内改革、国際社会への復帰と高度経済成長、石油ショックと低成長の時代、新しい国際秩序と日本の課題	・GHQの指令を受けて進められた民主化および非軍事化の内容と経緯、日本国憲法の制定について学び、朝鮮戦争をきっかけに立ち直り始めた、敗戦後の日本経済の動向について理解できる。 ・国際社会が大きく変容するなかで、日本やアメリカと中華人民共和国との国交正常化が実現したことを学ぶとともに、IMF体制の崩壊と石油危機により高度経済成長の時代が終わったことなどを理解できる。	本S⑨⑩ 火S⑩

地理B（後） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	村落と都市、都市・居住問題	・村落と都市の立地、発達、機能や日本の都市の特徴について、系統地理的にとらえる視点や考察方法を理解できる。	本S①② 火S①
第2回	生活文化、民族・宗教	・世界の生活文化について、地域的差異の特徴や画一化の進行について、系統地理的にとらえる視点や考察方法を理解できる。	本S③ 火S②③
第3回	東アジア	・東アジアの自然の特徴、中国や朝鮮半島の歴史的背景をふまえた地域の変容の実態、中国の人口増加と経済格差や経済発展の実態などの地域的特色や課題について、考察できる。	本S④⑤ 火S④
第4回	東南アジア、南アジア、西アジアと中央アジア	・それぞれの地域の自然の特徴、日本との関係など地域的特色や地域的課題について、項目ごとに整理して考察できる。	本S⑥ 火S⑤⑥
第5回	北アフリカとサハラ以南のアフリカ、ヨーロッパ、ロシア	・それぞれの地域の自然の特徴、日本との関係など地域的特色や地域的課題について、項目ごとに整理して考察できる。	本S⑦⑧ 火S⑦⑧
第6回	アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニア、現代世界と日本	・それぞれの地域の自然の特徴、日本との関係など地域的特色や地域的課題について、項目ごとに整理して考察できる。	本S⑨⑩ 火S⑩

◆注意事項

- ・着色が必要な部分があります。色鉛筆を用意しておきましょう。
- ・地図や統計が教科書のものより古い場合がありますので、注意してください。

現代社会（a） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	現代に生きる私たちの課題	現代における地球環境問題を知り、私たちが取り組むべき課題について学び、解決方法を考え行動していくことが出来る。	本S①②③ 火S①②③
第2回	情報社会の進展と生活 よりよく生きることを求めて	情報化社会を生き抜くための知識・理解を深め、今日的課題の解決へ向かって努力していくことが出来る。少子高齢化社会に対して、各自で解決方法を考え行動していくことが出来る。	本S④⑤⑥ 火S④⑤⑥⑦
第3回	憲法と民主政治	近代憲法の成立過程を学び、民主政治の基本的理念が何かを学びます。その上で、日本国憲法の私たちと深く結びついている内容から、よりよく生きていくための方法について考え行動することが出来る。	本S⑦⑧⑨⑩ 火S⑧⑨⑩⑪

現代社会（b） 【単位：1 レポート回数：3 スクーリング回数：2 試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	憲法と民主政治	近代憲法の成立過程を学び、民主政治の基本的理念が何かを理解し、日本国憲法が私たちの暮らしと深く結びついていることを理解する。それを踏まえて、現代社会でよりよく生きていくための方法について考えを深め課題解決に向かって行動することが出来る。	本S①②③ 火S①②③
第2回	現代の経済と国民福祉	経済の仕組みと産業構造を学び、消費者・労働者の立場で、問題点や取り組むべき課題について考える。そして、その課題を自らの事として捉え、積極的に取り組む意識と解決に向かって行動することが出来る。	本S④⑤⑥ 火S④⑤⑥⑦
第3回	国際社会と人類の課題	今日的な政治・経済の国際問題を学び、グローバル社会を生き抜くためにはどのように取り組むべきか考え行動することが出来る。	本S⑦⑧⑨⑩ 火S⑧⑨⑩⑪

政治・経済（a） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	民主政治の基本原則、日本国憲法の基本原則、日本の政治機構	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治の歴史的展開を理解し、現代の民主主義の特徴を理解できる。 日本国憲法の成立過程や内容について理解し、自由権や社会権、新しい人権等について理解できる。 三権分立の考え方について認識し、それぞれの役割やしきみについて理解できる。 	本S①③ 火S①③
第2回	現代政治の特質と課題、現代の国際政治	<ul style="list-style-type: none"> 日本の選挙制度の歴史と現状を理解し、国民の政治意識について理解できる。 国際連盟の限界と目的・機能について理解し、核軍拡競争と反核運動の流れを理解できる。 	本S⑤ 火S⑤⑦

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第3回	現代の資本主義経済、現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動について理解し、資本主義経済の特徴とその発達歴史について理解できる。 ・三つの経済主体と経済活動の流れを理解し、需要と供給のしくみ、通貨と金融の役割および中央銀行の金融政策について理解できる。 	本S⑦⑨ 火S⑨⑩

政治・経済 (b) 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	日本経済の発展と産業構造の変化、福祉社会と日本経済の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長の要因やその後の産業構造の高度化、バブル後の経済状態について理解できる。 ・公害の原因と政府の公害対策、消費者問題や農業の現状、労働問題などを理解できる。 	本S② 火S②
第2回	国民経済と国際経済	<ul style="list-style-type: none"> ・自由貿易の考え方と歴史を認識し、自由貿易をめぐる現状の課題について考えることができる。 	本S④⑥ 火S④⑥
第3回	日本社会の諸課題、国際社会の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日本社会の諸課題や国際社会の諸課題について考察できる。 	本S⑧⑩ 火S⑧⑩

数学 I (1) 【単位：1、レポート回数：4、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	文字を使った式 整式、整式の加法・減法 整式の乗法 乗法公式、因数分解	整式の加減乗除の計算を練習し、乗法公式および因数分解の公式を理解し、式を多面的に見たり目的に応じて変形できる。	本S①② 火S①②
第2回	根号を含む式の計算 数の分類	数には、自然数、整数、有理数、無理数、実数とさまざまな種類の世界があることを知るとともに、それを用いて四則計算ができる。無理数の計算にもチャレンジする。	本S③④⑤ 火S③④⑤
第3回	1次方程式 不等式、不等式の性質 不等式の解き方 不等式の利用 2次方程式とその解き方 連立不等式	方程式や不等式の意味を理解し、式を用いて表現できる。さらに、2次方程式の解き方を学ぶ。	本S⑥⑦⑧ 火S⑥⑦⑧⑨
第4回	集合、命題と集合 命題と証明 背理法を用いた証明	多くの事ながら集合を用いて表せることを知るとともに、いろいろな命題を証明することにより論理的に考える方法を身に付ける。	本S⑨⑩ 火S⑩

数学 I (2) 【単位：2、スクーリング回数：2、レポート回数：6、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	関数 2次関数とそのグラフ	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現する。	本S①② 火S①②

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第2回	2次関数の最大値・最小値	グラフを用いて、最大値、最小値を求め、具体的な事象の考察に活用できる力を養う。	本S③ 火S③④
第3回	2次関数のグラフと2次方程式 2次関数のグラフと2次不等式	2次方程式の解や2次不等式の解をグラフを用いて解く。	本S④⑤ 火S⑤
第4回	三角形 タンジェント、サインとコサイン 三角比の利用 三角比の相互関係	三角比の意味やその基本的性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識する。	本S⑥ 火S⑥⑦
第5回	三角比と座標 三角形の面積 正弦定理 余弦定理 鈍角の三角比と計量	正弦定理や余弦定理を具体的な問題の解決や測量などに活用することを通して、数学のよさを認識する。	本S⑦⑧ 火S⑧⑨
第6回	データと度数分布表 代表値 四分位数と箱ひげ図 分散と標準偏差 相関関係、相関係数	様々な事象から見出される確率や統計に関するデータを整理し、いろいろな観点から分析し、数学的に考察する力を身に付ける。	本S⑨⑩ 火S⑩

数学Ⅱ（後） 【 単位：2、スクーリング回数：2、レポート回数：6、試験：1 】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	三角関数 三角関数の相互関係 三角関数のグラフ 三角関数の性質	三角比を関数としてとらえる。三角関数のグラフを書くことなどにより、周期性について理解し、波動などの事象に関連していることを知る。	本S①② 火S①②
第2回	加法定理 加法定理の応用 弧度法	加法定理を理解し、2倍角の公式を導く。弧度法による角度の表し方を学ぶ。	本S③ 火S③④
第3回	指数の拡張 累乗根 指数関数とそのグラフ	指数を有理数まで拡張して考え、そのグラフについて考察する。自然現象等にも関連していることを知る。	本S④⑤ 火S⑤
第4回	対数・対数の性質 対数関数とそのグラフ 常用対数	対数は、指数の逆の計算であることを理解する。対数のグラフについて考察する。人間の感じ方の尺度に活用されていることを知る。	本S⑥ 火S⑥⑦
第5回	平均変化率、微分係数 導関数、接線 関数の増加・減少 極大・極小	微分の計算を学び、微分を利用して関数のグラフが書けることを理解する。微分が数学のいろいろな問題の解決に役立ち、日常のいろんな場面で利用されている有用性について認識する。	本S⑦⑧ 火S⑧⑨
第6回	不定積分 定積分 面積	積分は、微分の逆の計算であることを理解する。定積分によりいろいろな図形の面積が求められることを認識する。	本S⑨⑩ 火S⑩

数学A (後) 【単位：1、スクーリング回数：2、レポート回数：3、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	三角形と比、三角形の重心・外心・内心、角の二等分線と線分の比	図形に対する直観力・洞察力を養い、図形に対する見方を豊かにする。	本S①②③④ 火S①②③④
第2回	円周角の定理、円に内接する四角形、円と直線、接線と弦のつくる角、方べきの定理・2つの円、直線や平面の位置関係、多面体	円と三角形、四角形との関係を理解し、図形の性質の考察に活用する。	本S⑤⑥ 火S⑤⑥⑦⑧
第3回	約数と倍数、最大公約数と最小公倍数、ユークリッドの互除法、方程式の整数解、分数と小数、2進数と10進数	整数に関するいろいろな性質を見出し、それが成り立つ理由を考える。	本S⑦⑧⑨⑩ 火S⑨⑩⑪

数学入門 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	整数の計算、性質、分数の性質、加法と減法、乗法と減法	整数、分数の基礎的な四則計算をくりかえし練習し、計算力を身に付ける。	本S①② 火S①②
第2回	正の数・負の数の加減乗除、文字式のきまり、文字式の値	負の数の世界を認識し、正の数、負の数の四則計算について練習する。	本S③ 火S③④
第3回	整式の加法と減法・指数法則、整式の乗法と除法	整式の加減乗除について学習し、式の見方を豊かにする。	本S④⑤ 火S⑤
第4回	乗法公式、因数分解	乗法公式を用いて式の展開を学習する。因数分解は展開の逆の方法であることを理解し、因数分解の公式をマスターする。	本S⑥ 火S⑥⑦
第5回	1次方程式の解き方、1次方程式の応用、連立2元1次方程式、根号を含む式の計算	1次方程式、連立2元1次方程式の解き方を学び、マスターする。さらに、平方根について理解する。	本S⑦⑧ 火S⑧⑨
第6回	2次方程式、座標とグラフ、1次関数のグラフ	2次方程式の解き方を学ぶ。関数の定義を理解し、1次関数をグラフに書くことにより、数学的な見方を養う。	本S⑨⑩ 火S⑩

科学と人間生活 (後) 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○生物と光 ・植物の生育と光	・光合成と植物の発芽を中心に植物の活動と光の関係を理解する。	本S①③ 火S①③
第2回	○生物と光 ・ヒトの視覚と光 ・動物の行動と光	・ヒトの目の構造や働きを理解する。 ・光に対する動物の行動を理解する。	本S⑤ 火S⑤⑦
第3回	○身近な天体と太陽系における地球 ・太陽系の中の地球 ・太陽と人間生活 ・天体の運行と人間生活	・太陽や月などの身近に見られる天体と人間生活とのかかわり、太陽系における地球について理解する。	本S⑦⑨ 火S⑨⑩

物理基礎（後） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○熱	・熱と温度の違いを理解し、熱量に関する計算ができる。	本S② 火S②
第2回	○波	・波のグラフが書け、基本量が計算できる。 ・発音体の振動についてイメージし計算できる。	本S④⑥ 火S④⑥
第3回	○電気・エネルギー	・電気の基本法則を覚え、計算できる。 ・現象をエネルギーを通して捉えられる。	本S⑧⑩ 火S⑧⑩

化学基礎（後） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○物質と化学変化 ・原子量・分子量と物質 ・化学変化の量的関係	・原子・分子を集団として扱う物質（モル）について理解する。	本S② 火S②
第2回	○酸と塩基 ・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩の生成 ・中和反応の量的関係と中和滴定	・酸や塩基の性質や中和反応および、その量的関係について理解する。	本S④⑥ 火S④⑥
第3回	○酸化と還元 ・酸化と還元 ・酸化還元反応の利用	・酸化還元反応を電子の授受に基づいて理解するとともに、その応用例として電池や電気分解について学ぶ。	本S⑧⑩ 火S⑧⑩

生物基礎（後） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○生物の体内環境の維持 ・体内環境を保つしくみ ・体内環境を守るしくみ	・自律神経やホルモンによって体内の環境が調節されているしくみを学ぶ。 ・細菌やウイルスから身を守る免疫のしくみを学ぶ。	本S①③ 火S①③
第2回	○生物の多様性と生態系 ・植生の多様性と遷移 ・バイオームとその分布	・植物の果たしている役割を中心に自然環境の成り立ちを理解する。 ・環境の違いによって植物を中心にした生物の分布がどのように変化するかを学ぶ。	本S⑤ 火S⑤⑦
第3回	○生物の多様性と生態系 ・生態系とその保全	・生物を取り巻く環境を考慮に入れながら、エネルギーの流れや物質の循環、自然界のバランスについて学ぶ。	本S⑦⑨ 火S⑨⑩

体育1（後）【単位：1、レポート回数：1、スクーリング回数：5、試験：1（実技試験のみ）】

回	学習の内容	学習の目標	実技について
第1回	◎体育理論 ○「運動・スポーツの文化的特徴」 4 オリンピックと国際理解 5 スポーツと経済 6 ドーピングとスポーツ倫理 「スポーツ種目の概要とルール」	○スポーツの歴史、文化的特徴について理解する。 ○スポーツ競技別の歴史やルールについて理解し、スポーツに親しむ。	体育館内で、主に「卓球」、「バドミントン」、「バスケットボール」、「バレーボール」の4種目を同時に選択展開します。ストレッチングやニュースポーツにも取り組みます。

体育2（後）【単位：1、レポート回数：1、スクーリング回数：5、試験：1（実技試験のみ）】

回	学習の内容	学習の目標	実技について
第1回	◎体育理論 ○「運動・スポーツの学び方」 4 技能と体力 5 体力トレーニング	○運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。 ○体力や体力トレーニングの概要について理解を深める。	体育1と同じ

体育3（後）【単位：1、レポート回数：1、スクーリング回数：5、試験：1（実技試験のみ）】

回	学習の内容	学習の目標	実技について
第1回	◎体育理論 ○「豊かなスポーツライフの設計」 3 日本のスポーツ振興	○豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する。 ○日本のスポーツ振興やその伴う環境にもたらす影響について理解し、考えを深めることができる。	体育1と同じ

体育4（後）【単位：1、レポート回数：1、スクーリング回数：5、試験：1（実技試験のみ）】

回	学習の内容	学習の目標	実技について
第1回	◎体育理論 ○「豊かなスポーツライフの設計」 1 生涯スポーツの見方・考え方 2 ライフスタイルに応じたスポーツ	○豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する。 ○各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた楽しみ方を知る。 ○ライフスタイルに応じた様々なスポーツライフを知り、「マイスポーツライフ」を考えることができる。	体育1と同じ

体育5（後）【単位：1、レポート回数：1、スクーリング回数：5、試験：1（実技試験のみ）】

回	学習の内容	学習の目標	実技について
第1回	◎体育理論 ○「スポーツ種目の概要とルール」	○スポーツ種目の概要やルールについて理解し、スポーツに親しむ。	体育1と同じ

「体育実技」について

- ①「体育」の授業（スクーリング）は、体育館内で、卓球やバドミントンを中心とした運動実技を展開します。

②通常の「体育」スクーリング時には、教科書やレポート、筆記用具を持参しなくても結構です。

体育館用運動シューズ、季節に応じた運動のできる服装（ジャージ）を必ず準備してください。

③前期・後期の試験は、実技のみですので、原則レポート内容の筆記試験はありません。身体的な特殊事情（妊娠中や骨折治療中など）がある場合のみ、特別に筆記試験を実施します。万が一該当する場合には、事前に学校（担任もしくは体育担当教員）まで連絡してください。

保健（後） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：1、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	○「生涯を通じる健康」 1 思春期と健康～ 5 家族計画と人工妊娠中絶	○生涯の各段階（思春期～結婚生活）の健康課題について理解し、わが国の保健・医療制度や機関を適切に活用できる力を身につける。	本S② 火S②
第2回	○「生涯を通じる健康」 6 加齢と健康～ ○「社会生活と健康」 2 水質汚濁・土壌汚染と健康	○生涯の各段階（高齢期）の健康課題について理解し、わが国の保健・医療制度や機関を適切に活用できる力を身につける。 ○環境汚染や食品衛生管理に伴う健康課題について理解し、それらの健康管理・安全管理について考えることができる。	本S④⑥ 火S④⑥
第3回	○「社会生活と健康」 3 健康被害の防止と環境対策～ 9 健康的な職業生活	○環境問題、職業生活における健康課題について理解し、それらの健康管理・安全管理について考えることができる。	本S⑧⑩ 火S⑧⑩

美術Ⅰ（後） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	イラスト （水彩）	事物を抽象化することで表現力を豊かにすることができる。	毎時間 レポート支援
第2回	静物画（水彩）	自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。	
第3回	人物画（水彩）	対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。	

美術Ⅱ（後） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	風景を着彩で表現しよう	近くの物（近景）は大きくはっきりと描き、遠くの物（遠景）は小さく色も形もぼかすことで遠近感を表現することができる。	毎時間 レポート支援
第2回	雰囲気、匂い、味などの形のないものを表現しよう	20世紀美術の流れや特徴について学習し、抽象主義、超現実主義などの作品を鑑賞し、表現方法を理解し、描くことができる。	
第3回	身近にあるものを顔に見立てて表現しよう	身近にある無機物を擬人化し、表情豊かなキャラクターを作ることができる。	

書道Ⅰ（後） 【単位：1、レポート回数：3、面接時間：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	漢字の成立と変遷 「蘭亭序」	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫することができる。	毎時間 レポート支援
第2回	仮名の成立 漢字仮名交じりの書・表現の比較	創造的な書表現をするために、漢字の書の基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	
第3回	まとめ	日常生活の書の効果や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わうことができる。	

書道Ⅱ（後） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	書の変遷 日本飛鳥・奈良・平安時代	仮名の行書き、散らし書きの特徴を理解し、作品制作に取り組むことができる。 日本飛鳥・奈良・平安時代の書の変遷を理解する。	毎時間 レポート支援
第2回	まとめ1	創造的な書表現をするために漢字の書の特徴を生かし、作品制作に取り組むことができる。	
第3回	まとめ2	創造的な書表現をするために漢字仮名交じりの書の特徴を生かし、作品制作に取り組むことができる。	

C英語Ⅰ（後） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：8、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	Lesson 5 動名詞	・動名詞について基本的な使い方を理解する。 ・将来の夢について英語で表現することができる。	本S① 火S①
第2回	Lesson 6 受け身	・受け身について基本的な使い方を理解する。 ・好きな絵や写真などについて英語で表現することができる。	本S②③ 火S②③
第3回	Lesson 7 現在完了形	・現在完了形について基本的な使い方を理解する。 ・環境を守ることにについて英語で表現することができる。	本S④ 火S④
第4回	Lesson 8 itの用法	・itの用法について基本的な使い方を理解する。 ・理想の人物について英語で表現することができる。	本S⑤ 火S⑤⑥
第5回	Lesson 9 関係代名詞	・関係代名詞について基本的な使い方を理解する。 ・世界との結びつきを深めることにについて英語で表現することができる。	本S⑥⑦ 火S⑦⑧
第6回	Lesson 10 比較表現	・比較表現について基本的な使い方を理解する。 ・社会を良くすることにについて英語で表現することができる。	本S⑧⑨⑩ 火S⑨⑩

C英語Ⅱ（後） 【単位：2、レポート回数：6、スクーリング回数：8、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	Lesson 7 知覚動詞	・知覚動詞について基本的な使い方を理解する。 ・身の回りの人や地域を元気づける活動についての英文を読んで要点を理解することができる。	本S① 火S①
第2回	Lesson 8 関係副詞 where, when	・関係副詞について基本的な使い方を理解する。 ・自分の好きな場所についての英文を読んで要点を理解することができる。	本S②③ 火S②③
第3回	Lesson 9 使役動詞	・使役動詞について基本的な使い方を理解する。	本S④ 火S④
第4回	Lesson 9 使役動詞	・フェアトレードチョコレートについての英文を読んで要点を理解することができる。	本S⑤ 火S⑤⑥
第5回	Lesson 10 分詞構文	・分詞構文について基本的な知識を理解する。	本S⑥⑦ 火S⑦⑧
第6回	Lesson 10 分詞構文	・身の回りや世界で起こっている問題についての英文を読んで要点を理解することができる。	本S⑧⑨⑩ 火S⑨⑩

英語表現Ⅰ（後） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	Lesson 11 ~ Lesson 13 原形不定詞・動名詞・分詞	テーマの文法事項が使われた好きな映画や小説を英語で紹介することができる。また、新聞記事に特有な表現を理解することができる。	本S①②③ 火S①②③
第2回	Lesson 14 ~ Lesson 16 関係代名詞・関係副詞	テーマの文法事項が使われた人・もの・都市や地域について英語で表現することができる。また、環境問題について英語で理解することができる。	本S④⑤ 火S④⑤⑥
第3回	Lesson 17 ~ Lesson 20 比較・仮定法	テーマの文法事項が使われた名所や自分の住む地域について英語で理解することができる。また、理想や願望について英語で理解することができる。	本S⑥⑦⑧⑨⑩ 火S⑦⑧⑨⑩

英語入門（1） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	Lesson 1 ~ Lesson 3 ・アルファベット、人称代名詞、あいさつの表現 ・be動詞（現在形）の疑問・否定文、所有格	・辞書の使い方がわかる。 ・自己紹介や挨拶について英語で表現することができる。	本S①②③ 火S①②③
第2回	Lesson 4 ~ Lesson 5 ・be動詞と一般動詞の区別、三単現のs ・名詞の複数形、代名詞とその複数形	・be動詞を使った疑問文や否定文を作ることができる。 ・写真や人物について英語で表現することができる。	本S④⑤ 火S④⑤⑥

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第3回	Lesson 6 ～ Lesson 7 ・一般動詞（現在形）の疑問文、否定文 ・do/doesの使い分け、会話表現	・一般動詞を使った疑問文や否定文を作ることができる。 ・自分が持っているものや好きな物について英語で表現することができる。	本S⑥⑦⑧⑨⑩ 火S⑦⑧⑨⑩

英語入門（2） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	Lesson 8 ～ Lesson 9 ・There is（There are）～. の構文、前置詞 ・疑問詞を使った疑問文	・物がある場所について英語で表現することができる。 ・疑問詞を用いた英文を作ることができる。	本S①②③ 火S①②③
第2回	Lesson 10 ～ Lesson 12 ・現在進行形、その疑問文や否定文 ・疑問詞 whose、所有代名詞、助動詞、命令文	・現在進行中の動作について英語で表現することができる。 ・所有物について英語で尋ねることができる。 ・助動詞を用いた英文を作ることができる。	本S④⑤ 火S④⑤⑥
第3回	Lesson 13 ～ Lesson 15 ・be動詞の過去形、その疑問文・否定文、副詞 ・一般動詞の過去形、その疑問文・否定文	・過去の出来事について英語で表現することができる。 ・過去形を用いた疑問文や否定文を作ることができる。	本S⑥⑦⑧⑨⑩ 火S⑦⑧⑨⑩

家庭総合（後） 【単位：2、レポート回数：5、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	第6章 食生活をつくる 【実践課題】 食事調べ	安全と環境に配慮し、必要な知識と技術を習得して主体的に食生活を営むことができる。	本S①②③ 火S①②③
第2回	第6章 食生活をつくる 【実践課題】 朝食づくり	安全と環境に配慮し、必要な知識と技術を習得して主体的に食生活を営むことができる。	本S④⑤ 火S④⑤
第3回	第7章 衣生活をつくる 【実践課題】 ①表示調べ、 ②ホームプロジェクト計画	健康で快適に装うために必要な知識と技術を習得して、環境に配慮した衣生活を営むことができる。	本S⑥ 火S⑥⑦
第4回	第7章 衣生活をつくる 【実践課題】 手縫いの基礎	健康で快適に装うために必要な知識と技術を習得して、環境に配慮した衣生活を営むことができる。	本S⑦⑧ 火S⑧⑨
第5回	【実践課題】 ホームプロジェクトのまとめ	家庭科で学んだことを自分の生活に生かして、よりよい生活を目指して実践する力を身につけることができる。	本S⑨⑩ 火S⑩

<注意事項>

実践課題について

①第2回「朝食づくり」は原則自宅で取り組みますが、スクーリングでの実習もあります。学校での実習を希望する人は、申し込みが必要です。

②第4回「手縫いの基礎」は原則自宅で取り組みますが、レポート支援の時間に学校で指導をうけながら取り組むことができます。必要な用具は持参する。申し込みは必要ありません。

社会と情報（後） 【単位：1、レポート回数：3、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	情報化の影響と課題	コンピュータやネットワークを利用する上での危険・影響・してはいけないことを理解し、正しい利用方法を考えることができる。	本S①③ 火S①
第2回	社会における情報システム	個人情報の保護に関する法律や自身や他人が持つ権利について理解する。また、個人情報や権利を守る方法を考えることができる。	本S⑤ 火S⑤⑦
第3回	情報システムと人間 情報社会と問題解決	情報システムにおいてミスに対する対応について理解する。問題解決のステップについて理解し、時事問題に対して意見をまとめることができる。	本S⑦⑨・ 火S⑩

消費生活（後） 【単位：1、レポート回数：2、スクーリング回数：2、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	第6章 消費者契約と法 実践課題 消費者契約法の実例を考える	契約に関する基礎的事項を理解し、トラブルを未然に防止する方法や問題解決方法を考えることができる。	本S①③⑤ 火S①③⑤
第2回	実践課題 内容証明郵便を書く		本S⑦⑨ 火S⑦⑨

子どもの発達と保育（後） 【単位：2、レポート回数：5、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	第3章 子どもの生活1 実践課題 こんな時、どんな声がけをするか	乳幼児の生活の特徴と発育・発達を促すために望まし生活について必要な知識と技術を習得することができる。	本S①②③ 火S①②③
第2回	第3章 子どもの生活2 実践課題 絵本づくりを構想する	乳幼児の生活の特徴と発育・発達を促すために望まし生活について必要な知識と技術を習得することができる。	本S④⑤ 火S④⑤
第3回	第3章 子どもの生活3 実践課題 絵描き歌で絵を描く	乳幼児の生活の特徴と発育・発達を促すために望まし生活について必要な知識と技術を習得することができる。	本S⑥ 火S⑥⑦
第4回	第3章 子どもの生活4 実践課題 子どもに関わる問題を調べる	乳幼児の生活の特徴と発育・発達を促すために望まし生活について必要な知識と技術を習得することができる。	本S⑦⑧ 火S⑧⑨
第5回	第5章 子どもの保育 実践課題 ①児童観を記述する ②作った絵本について述べる	児童福祉の理念、関係法規と制度について理解し、子育て支援のあり方について考えることができる。	本S⑨⑩ 火S⑩

<注意事項>

実践課題について

- ①第2回では、「絵本づくり」に取り組みます。作成した絵本は、第5回に提出してください。
 ②第4回では、保育や子どもに関する記事の切り抜きの添付が必要です。日頃から新聞等を見て、必要な記事を切り抜いておきましょう。

服飾手芸（後）【単位：1、レポート回数：2、スクーリング回数：3、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	棒針編み（基礎）	棒針編みの基礎的な技法を習得する。	本S①③⑤ 火S①③⑤
第2回	棒針編み（応用）	基礎的な技法を活用して、大人が使用できる作品をつくる。	本S⑦⑨ 火S⑦⑨

<注意事項>

- ①作品が郵送できない場合は、持参してください。
 ②第2回の作品を考えて、用具（棒針、毛糸のの太さ等）の準備をしましょう。

ビジネス基礎（後）【単位：2、レポート回数：4、スクーリング回数：3、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	ビジネスの担い手 企業活動の基礎 売買に関する計算	企業が行う社会貢献とはどのようなものか、企業にはどのような種類があるのかを考える。	本S①②③ 火S②
第2回	企業活動の基礎	企業がどのように資金調達を行うのか考える。雇用形態の種類と特徴を理解する。	本S③⑤ 火S②③⑤・
第3回	企業活動の基礎 ビジネスと売買取引	企業の責任について理解し、売買取引の手順を理解する。	本S⑥⑦⑧ 火S⑧
第4回	ビジネスと売買取引	代金決済方法の種類を理解し、それぞれの特徴や使用する場面を考える。	本S⑨⑩ 火S⑨⑩

簿記（後）【単位：2、レポート回数：4、スクーリング回数：4、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	商品取引の3分法(3つに分けて行う方法)による処理と関係帳簿類の記入	商品の売買に関する取引を3分法で行うことができる。仕入帳・売上帳、商品有高帳、売掛金元帳・買掛金元帳を作成することができる。	本S①② 火S①
第2回	その他の各種取引 〔債権・債務、税金など〕	約束手形・為替手形に関する取引の仕訳を示すことができる。また、企業が納めるべき税金とは何かを理解する。	本S③④⑤ 火S③④
第3回	決算整理 財務諸表の作成 3伝票制	決算整理事項を仕訳に示すことができる。貸倒や減価償却とは何か理解する。取引を伝票に記入することができる。	本S⑥⑦ 火S⑥⑦
第4回	<総合問題> ※これまで触れた教科書の範囲全て	さまざまな取引の仕訳を示すことができる。伝票を作成することができ、仕訳から帳簿作成まで決算の一連の手続きを行うことができる。	本S⑧⑨⑩ 火S⑨⑩

情報処理（後） 【単位：2、レポート回数：5、スクーリング回数：7、試験：1】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	情報モラルとセキュリティ管理 ビジネス情報の処理と分析	個人情報の扱い方について考える。 初歩的な関数を理解し、利用方法を考える	本S①②③ 火S①②
第2回	情報モラルとセキュリティ管理 ビジネス情報の処理と分析	ネットワークを利用する上で気を付けることを考える。 基本的な関数を理解し、利用方法を考える。	本S④⑤
第3回	情報モラルとセキュリティ管理 ビジネス情報の処理と分析	様々な権利について考える。 目的に応じてわかりやすくグラフを活用する。	本S⑥ 火S⑤⑥・
第4回	情報モラルとセキュリティ管理 ビジネス情報の処理と分析	ネットワークを利用する際にどのような危険に備えなければならないか考える。 順位付けや検索の関数を理解する。	本S⑦⑧ 火S⑦⑧
第5回	情報モラルとセキュリティ管理 ビジネス情報の処理と分析	セキュリティ管理について考える。 発展的な関数を理解する。	本S⑨⑩ 火S⑪



総合的な探究の時間の学習内容と目標

総合的な探究の時間 【単位：3、レポート回数：3、スクーリング回数：3、試験：なし】

回	学習の内容	学習の目標	スクーリング日
第1回	地域巡検に参加し、訪問先についてまとめる。	地域の魅力や課題を仲間と一緒に確認し、情報を整理しながら課題解決に向けて自分でできることを考える。	・地域巡検参加 (1回分) ・地域巡検後 月2回程度
第2回	島根の魅力や課題についてテーマを設定し、課題解決について探究するための計画をたてる。	自分の興味・関心を考慮してテーマを決める。目標が達成できる方法を考える。 【情報収集・現地調査・インタビュー等】	
第3回	計画を実行し、実施内容をわかりやすくまとめる。	島根県の魅力の紹介、課題解決の提言や自分自身がどのように貢献できるかを考え、わかりやすく表現する。	

<注意事項>

- ①地域巡検に参加できなかった場合には、各自で地域の施設等を見学して第1回のレポートに取り組みます。
- ②第3回でまとめたものは、2月～4月に校内展示を行います。



令和2年度 浜田高校通信制「特別活動」年間計画

令和2年4月現在

通信制教育では、卒業条件の一つとして、卒業までに特別活動の30単位時間以上の参加が必要です。年間計画の内容、単位時間数を参考にして、特別活動の参加についても各科目の学習計画にあわせて計画をたてる目安にしてください。特別活動（学校行事）の概要については、「学習の手引き」（P65～P67 参照）に記載してあります。

※ 実施時間帯については、時間割に組み込んだり放課後に実施したりすることがあります。時間割や事前のお知らせを確認してください。

※ この他にも、各スクーリング時のSHRに参加すると、「0.5時間」のカウントになります。

前 期					
	期 日	場 所	内 容	参加対象者	時間数
4月	5日(日)	浜田高校	在校生受講手続き	在校生全員	1
	19日(日)	浜田高校	入学式(新入生)	前期入学生	1
	26日(日)	浜田高校	全校集会	全員	1
			前期スクーリング計画作成	全員	1
	28日(火)	大田・益田	プレススクーリング	前期入学生・希望者	2
30日(木)	浜田高校				
5月	12日(火)	浜田高校	情報モラル教育講演会	希望者	1
	17日(日)	浜田高校	HR「学習のてびきの使い方と学習進捗状況表の見方を学ぼう」	希望者	1
	19日(火)	浜田高校	生徒総会	全員	1
6月	2日(火)	浜田高校	健康診断	全員	2
	6日(土)	宍道高校	県定通体育大会	希望者	6
	9日(火)	浜田高校	進学説明会	卒業予定生・希望者	
			社会人基礎力講座①	希望者	1
	15日(月)	未定	第1回企業・学校見学	卒業予定生・希望者	6
	16日(火)	浜田高校	避難訓練	全員	1
	25日(木)	未定	遠足	希望者	6
30日(火)	浜田高校	HR「進路探究」	希望者	1	
7月	5日(日)	浜田高校	心と体の健康講座①	希望者	1
	7日(火)	浜田高校	就職説明会	卒業予定生・希望者	
		浜田高校	社会人基礎力講座②	希望者	1
	14日(火)	浜田高校	生徒会提案行事	希望者	1
	19日(日)	大田・益田	前期末大そうじ	希望者	1
	21日(火)	浜田高校	全国大会壮行式	出場選手・希望者	1
26日(日)	浜田高校	前期末大そうじ	希望者	1	
8月	上旬または下旬	東京・神奈川	全国定通体育大会(県代表者) ＜競技ごとの日程により 2泊3日～3泊4日程度＞	県代表選手	1日 あたり 6
	7/30(木) ～8/6(木)	浜田高校	前期試験学習強化期間	希望者	50分で 1カット

後 期					
	期 日	場 所	内 容	参加対象者	時間数
9月	3日(木)	浜田高校	着こなし講座	卒業予定生・希望者	
	27日(日)	浜田高校	全校集会	全員	1
			後期スクーリング計画作成	全員	1
	29日(火)	浜田高校	プレスクーリング	後期入学生・希望者	2
30日(水)	大田・益田				
10月	11日(日)	浜田高校	HR「学習のてびきの使い方と学習進捗状況表の見方を学ぼう」	希望者	1
	13日(火)	浜田高校	社会人基礎力講座③	希望者	1
	15日(木)	宍道高校	県生活体験発表大会	校内の代表者2名	6
	18日(日)	浜田高校	心と体の健康講座②	希望者	1
	21日(水)～ 22日(木)	江津少年 自然の家	宿泊研修	希望者	10
	25日(日)	益田高校	防災学習	希望者	1
	27日(火)	浜田高校	定通スポーツ大会	定時制昼間部 通信制希望者	1
11月	1日(日)	浜田高校	防災学習	希望者	1
	4日(水)	未定	企業・学校見学②	卒業予定生・希望者	6
	10日(火)	浜田高校	心と体の健康講座③	希望者	1
	15日(日)	大田高校	防災学習	希望者	1
	17日(火)	浜田高校	社会人基礎力講座④	希望者	1
	24日(火)	浜田高校	HR「進路探究」	希望者	1
	29日(日)	浜田高校	生徒会提案行事 「クリスマスケーキ作り」	希望者	2
12月	1日(火)	浜田高校	社会人基礎力講座⑤	希望者	1
	20日(日)	大田・浜田・益田	後期末大掃除	希望者	1
1月	4日(月)～ 12日(火)	浜田高校	後期試験学習強化期間	希望者	50分で 1カット
2月	16日(火)	浜田高校	生徒総会・在校生授賞式	在校生全員	1
		未定	冬季集団研修	希望者	4
3月	1日(月)	浜田高校	卒業生授賞式	在校生希望者	1
	2日(火)	浜田高校	卒業式	在校生希望者	2
	24日(水)	浜田高校	転退任式	在校生希望者	1

①遠足や生徒会提案行事など、内容詳細が未定のところがあり、カウント数や内容等が変わる可能性があります。その都度、案内を確認してください。

②生徒会執行部の提案や行事の追加などにより、特別活動が追加される可能性があります。できるだけ早めにお知らせします。

③指導体制や環境面の事情により、協力校で実施できないものもありますが、協力校の皆さんもできるだけ都合をつけて本校（浜田高校）の行事にも積極的に参加しましょう。

学校行事の内容（昨年度までの様子ですので、変更になる場合もあります）

4月	在校生受講手続き	在校生が3月にルーム担任と相談した上で、今年度受講する講座を決定する。受講願（押印）を学校へ提出。
	入学式	通信制入学生の入学式を定時制通信制校舎で実施。
	前期全校集会	新入生を含め、通信制の活動生が一堂に会する。
	学習計画立案	ルームごとに分かれて、教科書・前期レポートを受け取り、ルーム担当とスクーリング計画を立てる。
	プレスクーリング	新入生を対象に、実際にレポートに取り組む。
	本S①	本校スクーリング第1回の略。浜田定通校舎で実施するスクーリングが始まる。
	協S①	協力校スクーリング第1回の略。大田高校、益田高校で実施するスクーリングが始まる。
	火S①	火曜スクーリング第1回の略。浜田高校定通校舎のみで実施する。午後からは、定時制の生徒も登校。
5月	P T A総会	定時制・通信制で実施。
	第1回生徒総会	新役員紹介、昨年度活動のふり返り、今年度の活動予定など。
	情報モラル教育講演会	定通合同でK D D Iの専門講師を招き、スマホによるSNSを中心としたインターネットの利便性と危険性について学ぶ。
	進路適性検査（卒予生）	進路適性を知るための検査を実施。卒業予定生対象。
	健康診断	校医による眼科・耳鼻科・歯科検診および環境保健公社による健診を実施。職場で受ける人、病院で受ける人以外は必ず受診。
6月	県定通体育大会	島根県内の定時制・通信制生徒の全国大会の予選を兼ねた総合体育大会。昨年度は卓球、バドミントン、バスケットボールに出場。
	進学説明会	進学希望者向けに説明会・個別相談会を実施。
	社会人基礎力講座①	社会人に必要な力を身に付けるための講座を実施。
	防災訓練	火災等の緊急時に迅速に対応できるよう本校校舎で訓練を行う。
	地域巡検	大田・浜田・益田地域をそれぞれ1日かけて体験学習をしながら巡る。総合的な探究の時間を受講している生徒は必参加。希望者も可。
	企業・学校見学①	島根県西部地域の企業・学校を訪問する。主にその年度の卒業予定生を対象として実施。
	心と体の健康講座①	心や体の疲れを和らげるリラクゼーション法について体験することで理解を深める。
	遠足	バス遠足（過去の行き先は、出雲大社、広島工場見学、宮島等）。
	巡S①	巡回スクーリング第1回の略。本校の教員が大田・益田の協力校に出かけていき授業を実施。
	保護者会	本校の教員と保護者の方の懇談会。保護者同士の交流の場にもなっている。

7月	生徒会提案行事	昨年度は「映画鑑賞会」を実施。
	進路適性検査（在生）	進路適性を知るための検査を実施。在校生対象。
	就職説明会	就職希望者向けに説明会・個別相談会を実施。
	社会人基礎力講座②	社会人に必要な力を身に付けるための講座を実施。
	前期レポート合格しめきり	前期レポートすべての合格しめきり。16：30までに合格する。
	前期受験願発送	前期レポートが完了した講座について、受験願を学校から発送。
8月	前期受験願受付開始	前期試験の時間割（亀山通信記載）を見て、必要事項を記入して提出。
	前期受験願締切	16：30までに提出する。提出がない場合、受験資格喪失。
	前期試験	前期レポート範囲の試験。本校・協力校で実施。
	全国定通体育大会	県大会で出場権を得た選手が、校内審議を経て県代表・学校代表として出場。東京都を中心に関東地区が会場になるが、今年度は東京2020オリ・パラの関係で「卓球競技」は奈良県での開催。
9月	再試験	あらかじめ選択した試験日に受験できなかった場合、再試験届を出して受験。
	追認試験	試験で合格に達しなかった場合、指導を受けた上で受験。
	社会人着こなし講座	就職試験等での身だしなみや作法を学習。卒業予定生対象。
10月	受講手続き 後期全校集会	後期に学習する講座を決め、受講願を提出する。（主に後期入学生） 後期入学生を含む通信制活動生が一堂に会する。後期レポートを受け取る。
	プレスクーリング	後期入学生を対象に、実際にレポートに取り組む。
	心と体の健康講座②	薬物乱用防止講座。医薬品や正しい使い方について理解を深める。
	社会人基礎力講座③	社会人に必要な力を身に付けるための講座を実施。
	県生活体験発表大会 （※1）	島根県の定時制・通信制（宍道高校（定・通）、松江工業（定）、浜田（定・通））各学校の各課程より2名ずつの代表生徒が発表する。県大会で優勝すると11月開催の全国大会（東京都会場）へ出場する。
	防災学習	災害に際して安全に身を守れるよう本校及び協力校でDVDによる学習会を行う。
	定通合同スポーツ大会	昨年度は、12月に実施したが、今年度は10月に実施予定。昨年度の種目は、男子バスケットボール、女子ドッジビー。
	宿泊研修	集団研修を通して生徒同士の親睦を深め、コミュニケーション能力を高めるために実施。昨年度は江津少年自然の家で開催
11月	企業・学校見学②	島根県西部地域の企業・学校を訪問する。主に次年度の卒業予定見込み者を対象として実施。
	先輩から学ぶ	浜田高校通信制卒業の先輩のお話を聞き、今後の進路について考える。
	心と体の健康講座③	視覚障がいや盲導犬について理解を深める。
	社会人基礎力講座④	社会人に必要な力を身に付けるための講座を実施。
	生徒会提案行事	「クリスマスケーキ作り」、「クリスマスツリー飾り」を予定。

12月	社会人基礎力講座⑤	社会人に必要な力を身に付けるための講座を実施。
	生徒会課程代表選挙立候補者募集	次年度の通信制生徒会の課程代表立候補者、その他役員の募集と選挙日程について示す。
	後期レポート合格しめきり	後期レポートすべての合格しめきり。16:30までに合格する。
	後期受験願発送	後期レポートが完了した講座について、受験願を学校から発送。
1月	後期受験願受付開始	前期試験の時間割(亀山通信記載)を見て、必要事項を記入して提出。
	後期受験願締切	16:30までに提出する。提出がない場合、受験資格喪失。
	生徒会課程代表選挙投票	後期試験実施日すべてに実施する予定。
	後期試験	前期レポート範囲の試験。本校・協力校で実施。
2月	再試験	あらかじめ選択した試験日に受験できなかった場合、再試験届を出して受験。
	追認試験	試験で合格に達しなかった場合、指導を受けた上で受験。
	第2回生徒総会	新旧生徒会役員の交代。1年間の生徒会活動を振り返る。在校生の校内賞(亀山賞(※2))などの授賞式も実施。
	冬季集団研修	公共施設での集団活動を通して、社会生活のルールとマナーを学ぶ。(昨年度は、スケート・カーリング実習)
	卒業生授賞式	通信制卒業予定者対象の各種授賞式。卒業式の予行(前年度の映像の視聴)も実施。
	会食マナー講習会	通信制卒業予定者対象に実施。昨年度はホテル「松尾」で開催。
3月	卒業式	全定通合同で、全日体育館で実施。
	在校生受講指導	来年度の受講講座をルーム担任と相談して決める。
	転退任式	出席は任意。

※1 生活体験発表大会は、生徒が日々の学校生活を通して学んだ事や体験したことを発表する機会です。6月中旬に全校生徒へ呼びかけ、7月中旬に校内選考を行います。生徒会誌「伊久里」に前年度のものが載っています。

※2 校内賞(亀山賞)とは、将来の進路に向けて検定に合格、学業と仕事を両立させて頑張った生徒、またスポーツ・文化・芸術に関して活躍した生徒について校内審議を経て表彰されるものです。

その他

「生徒会提案行事」は生徒会役員を中心に実施内容を相談し、決定次第案内します。

昨年度までは「バーベキュー」、「校内スポーツ大会」、「映画鑑賞会」、「クリスマスケーキ作り」等を実施しました。昨年度からボランティア活動にも力を入れ始めています。

令和2年度 レポート配付・郵送日 配付・発送予定

講座	回数	4月26日	5月14日	5月28日	6月11日	6月25日
国語総合	6	①②	③	④	⑤	⑥
現代文B	6	①②	③	④	⑤	⑥
古典B	6	①②	③	④	⑤	⑥
世界史B	6	①②	③	④	⑤	⑥
日本史B	6	①②	③	④	⑤	⑥
地理B	6	①②	③	④	⑤	⑥
現代社会 (a)	3	①		②		③
現代社会 (b)	3	①		②		③
政治・経済 (a)	3	①		②		③
政治・経済 (b)	3	①		②		③
数学I (1)	4	①	②	③		④
数学I (2)	6	①②	③	④	⑤	⑥
数学I (1) (2)	10	① ①② (1) ③④	② ③④	(2) ①②	(2) ③④	(2) ⑤⑥
数学II	6	①②	③	④	⑤	⑥
数学A	3	①		②		③
数学入門	6	①②	③	④	⑤	⑥
科学と人間生活	3	①		②		③
物理基礎	3	①		②		③
化学基礎	3	①		②		③
生物基礎	3	①		②		③
体育1	1	①				
体育2	1	①				
体育3	2	①			②	
体育4	1	①				
体育5	1	①				
保健	3	①		②		③
美術I	3	①②③				
美術II	3	①②③				
書道I	3	①②③				
書道II	3	①②③				
英語表現I	3	①		②		③
C英語I	4	①	②	③		④
C英語II	6	①②	③	④	⑤	⑥
英語入門 (1)	3	①		②		③
英語入門 (2)	3	①		②		③
英語入門 (1) (2)	6	① ①② (1) ③	(2) ①	(2) ②	(2) ③	(2) ④
家庭総合	5	①	②	③	④	⑤
子どもの発達と保育	5	①	②	③	④	⑤
消費生活	4	①	②	③		④
服飾手芸	2	①②				
社会と情報	3	①		②		③
ビジネス基礎	2	①		②		
情報処理	4	①	②	③		④
簿記	4	①	②	③		④
総合的な探究の時間	1	①②③				

回数	9月27日	10月15日	10月29日	11月12日	11月26日
6	①②	③	④	⑤	⑥
6	①②	③	④	⑤	⑥
6	①②	③	④	⑤	⑥
6	①②	③	④	⑤	⑥
6	①②	③	④	⑤	⑥
6	①②	③	④	⑤	⑥
3	①		②		③
3	①		②		③
3	①		②		③
3	①		②		③
4	①	②	③	④	
6	①②	③	④	⑤	⑥
10	① ①② (1) ③④	(2) ③④	(2) ①②	(2) ③④	(2) ⑤⑥
6	①②	③	④	⑤	⑥
3	①		②		③
6	①②	③	④	⑤	⑥
3	①		②		③
3	①		②		③
3	①		②		③
3	①		②		③
1	①				
1	①				
1	①			②	
1	①				
1	①				
3	①		②		③
3	①②③				
3	①②③				
3	①②③				
3	①②③				
3	①		②		③
6	①②	③	④	⑤	⑥
6	①②	③	④	⑤	⑥
3	①		②		③
3	①①②	(1) ③	(2) ①	(2) ②	(2) ③
5	①	②	③	④	⑤
5	①	②	③	④	⑤
2	①			②	
2	①②				
3	①		②		③
4	①	②	③		④
5	①	②	③	④	⑤
4	①	②	③		④
2	①	②	③		④

前期スクーリング計画

スクーリングの始まりの時間は、記入しておきましょう。

6月7日(日)と6月21日(日)は巡回スクーリング日なので本校スクーリングはありません。

	5/10 (日) 本S・播S	5/12 (火)	5/17 (日) 本S・播S	5/19 (火)	5/24 (日) 本S・播S	5/26 (火)	5/31 (日) 本S	6/2 (火)	6/7 (日) 巡S	6/9 (火)	6/14 (日) 本S・播S	6/16 (火)	6/21 (日) 巡S	6/23 (火)	6/28 (日) 本S・播S	6/30 (火)	7/5 (日) 本S・播S	7/7 (火)	7/12 (日) 本S・播S	7/14 (火)	7/19 (日) 本S・播S	7/21 (火)	7/26 (日) 本S
1																							
場所																							
2																							
場所																							
3																							
場所																							
4																							
場所																							
5																							
場所																							
6																							
場所																							

後期スクーリング計画

スクーリングの始まりの時間は、記入しておきましょう。

10月25日(日)と11月15日(日)は巡回スクーリング日なので本校スクーリングはありませぬ。

	10/4 (日) 本S・協S	10/6 (火)	10/11 (日) 本S・協S	10/13 (火)	10/18 (日) 本S	10/20 (火)	10/25 (日) 巡S	10/27 (火)	11/1 (日) 本S	11/8 (日) 本S・協S	11/10 (火)	11/15 (日) 巡S	11/17 (火)	11/22 (日) 本S・協S	11/24 (火)	11/29 (日) 本S・協S	12/1 (火)	12/6 (日) 本S・協S	12/8 (火)	12/13 (日) 本S・協S	12/15 (火)	12/20 (日) 本S・協S	12/22 (火)		
1																									
場所																									
2																									
場所																									
3																									
場所																									
4																									
場所																									
5																									
場所																									
6																									
場所																									

通信制の学習および生活 Q & A

<スクーリング（面接指導）について>

：昨年度とは変更された部分

Q1、スクーリングは、いつありますか？遅刻したら、欠席ですか？

A1：日曜日に実施しています。浜田高校は、火曜日にも実施しています。年間行事（P1・2）で確認しましょう。スクーリングでは、5分以上の遅刻は出席になりません。学校に来た時には、生徒証を掛け、「出校表」に出席する講座名を記入します。余裕をもって登校しましょう。

Q2、スクーリングに、持っていくものはなんですか？服装や座席は決まっていますか？

A2：持っていくものは、教科、学習書、レポート、筆記用具、生徒証、生徒用バーコードシールです。（詳細はP8 参照）服装は、勉学の場にふさわしい服装であれば自由です。浜田高校定通校舎は、下足のままで入れます。協力校では備えつけのスリッパに履き替えてください。座席は自由です。

Q3、「本S」「協S」「火S」「巡S」とはなんですか？

A3：「本S」は本校スクーリング、「協S」は協力校スクーリング、「火S」は火曜スクーリング、「巡S」は巡回スクーリングの略称です。（P8 参照）

Q4、協力校スクーリングはどこでやっていますか？

A4：令和2年度は、大田は大田高校、益田は益田高校で日曜日に実施します。

Q5、時間割はいつごろわかりますか？

A5：4月末に発行される亀山通信に前期の時間割が、9月末に発行されるものに後期の時間割が掲載されます。全校集会の後、担任・副担任と相談しながらスクーリング受講計画を立てる時間を設けています。

Q6、協力校の生徒が、本校（浜田高校）へ行かなければならないことがありますか？

A6：4月の受講手続き、前期全校集会、5月の健康診断、10月の後期全校集会の年4回は、本校で行います。また、入学式（通信制新入生のみ）卒業式（全定通合同卒業生・在校生）は本校で行われます。特別活動は、本校で実施されることが多いです。（P1・2、P63・64 参照）

Q7、特別活動とはなんですか？

A7：ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事などの活動のことです。通信制の場合、卒業するまでに30時間以上の参加が必要です。（P17、P65～67 参照）

<レポートについて>



Q8：レポートはいつもらえますか？

A8：第1回又は第1回と第2回は全校集会時に渡します（ただし、書道、美術、服飾手芸、総合的な探究の時間のレポートはすべて全校集会時に渡します）。第2回以降は、定期的に郵送されます。（P70 参照）

Q9：レポートの合格点はどのくらいですか？わからないところがあったら、どうしたらいいですか？

A9：レポートは教科書、学習書をよく読み、自学自習が基本です。80点以上を目標に取り組みましょう。わからないところは、スクーリング等で教科担当に質問して完成させてから提出しましょう。空欄のまま提出すると、採点されずに返却されます。提出後、間違っただ箇所は、先生からのヒント等を参考に直しておきましょう（P10・11 参照）。



Q10：レポートの採点はどのようになりますか。

A10：下図のようになります。

提出しめきり日	結果	次の展開	採点
守った	合格		100点満点の得点
	不合格	再提出	得点の <u>8割</u>
	空欄あり (採点対象にならない)	再提出 ①次提出が提出しめきり日内 ②次提出が提出しめきり日過ぎ	①100点満点の得点 ②得点から減点(-10)
過ぎた	合格		得点から減点(-10)
	不合格	再提出	得点の <u>8割</u> +減点(-10)
	空欄あり (採点対象にならない)	再提出 ①合格 ②不合格→再々提出で合格	①得点から減点(-10) ②得点の <u>8割</u> +減点(-10)

Q11：「提出しめきり日」までにレポートは合格しなければならないのですか？

A11：いいえ、合格しめきり日ではありません。各回レポートの提出しめきり日を設定しています。「提出しめきり日」までに提出したレポートが再提出となり、次の提出が「提出しめきり日」を過ぎても減点はされません。ただし、空欄がある場合は採点対象とされず、再提出した日が「提出しめきり日」を過ぎていれば、減点(-10点)されます。前期・後期終了時の合格しめきり日までは提出可能です。

Q12：提出しめきり日を過ぎてからもレポートは出せますか？

A12：はい。前期末・後期末の合格しめきり日まで出せます。しかし、1日各講座1回分の合格しか認めていません。提出日までに出すようにしましょう。

Q13：レポートを提出中や全て合格した後でも、スクーリングに出席できますか？

A13：本校スクーリングでは、各回のレポート内容の授業をするために、持参するレポートを指定しています。各回のレポート「郵送日」と「提出しめきり日」を確認して、スクーリング計画を立てましょう。合格したレポートをスクーリングに持参することは可能です。復習として取り組んでください。

Q14：レポートの解答がわからない場合、解答欄に「わかりません」と書いてもいいですか？

A14：空欄とみなされます。わからないところは、スクーリング等で質問し、解答を記入しましょう。「わかりません」以外でも、問題文の指示通りにレポートが作成されていない場合は、再提出になります。

Q15、完成したレポートはどうすればいいですか？

A15：本校では事務室前の「提出BOX」に入れてください。協力校では、浜田高校通信制の先生に渡します。郵送する場合は、「通信教育」用の封筒を使うと安価で送れます。提出しめきり日を確認して、計画的に提出していきましょう（P9・10 参照）。

<試験について>**Q16、試験を受けるには、どうすればいいですか？試験の範囲はいつわかりますか？**

A16：講座ごとに設けられたレポートおよびスクーリングの回数を終えた場合に試験が受けられます。受験資格のある生徒にはレポート合格しめきり日以降に「受験願」が送付されてきます。受験日を決め、必要事項を記入したものを期限までに提出してください（P12 参照）。試験の範囲は前期・後期それぞれ取り組んだレポートです。試験等に必要な用具等がある場合には、7月、12月の「亀山通信」に記載されます。

<放送視聴学習について>**Q17、Eテレの番組をみたら、スクーリングを受けたことになるのですか？**

A17：NHK高校講座を視聴して、「視聴報告書」を提出することでスクーリング時間が一部免除になる講座があります。すべてではないので、注意してください（P13・14 参照）。

<単位の認定について>**Q18、単位が認定される時期はいつですか？**

A18：レポート・スクーリングの規定の回数を満たし、試験を受け、それらの総合評価が十分であると会議で認められた場合、単位は認定されます。前期末、後期末にそれぞれの単位が認定されます（P18 参照）。

Q19、学校で申し込める検定試験がありますか？

A19：漢字検定や英語検定、家庭科の検定等を実施しています。募集案内は、4月の学校通信「亀山通信」を見てください。上級の合格者は、校内で表彰（「亀山賞」）されます。また、単位として認められるものもあります（P20 参照）。

Q20、受講する講座は、自分で決めることはできますか？前期に決めた講座を後期に変更することは可能ですか。

A20：進路のことも考えて、ルーム担任の先生と相談しながら、受講する講座は自分で決めます（P4 参照）。受講登録時には、教科書購入も必要なので年度始めに1年間のものを決めます。

Q21、卒業するにはどうしたらいいですか？

A21：レポート・スクーリングに取り組み、試験を受け、①在籍年数が3年以上（新入生）、②74単位以上の修得、③特別活動30単位時間の出席があり、卒業認定会議で認められると卒業できます（P5、P21 参照）。

Q22、休学はありますか？

A22：病気などやむを得ない事情によって、学習活動を休止する場合には、ルーム担任の先生に申し出てください。

<学校生活について>

Q23、学校は、いつあいていますか？

A23：通信制の教員の勤務は、原則日曜日から木曜日の8：25～16：55です。休日等は、年間行事予定をご覧ください（P1・2 参照）。

Q24、ルーム活動はありますか？

A24：本校はスクーリング日の放課後、協力校はスクーリング日の4限と5限の間にSHRがあります。主に、提出物や今後の予定等を確認します。学校からの連絡は、文書が中心です。分からないことや不安なことは、まずルーム担任の先生に相談しましょう。

Q25、バイクや自動車でも来てもいいですか？アルバイトは学校の許可が必要ですか。

A25：車両通学を希望する人は申請手続きをして、車両通行証を携行してください。アルバイトに学校の許可は必要ありませんが、仕事を始めた時や職場が変わった時にはルーム担任に連絡をしてください（P23 参照）。

Q26、昼食を食べるところはありますか？

A26：本校は、生徒会室、1R教室で食べることができます。協力校では、生徒控室で食事することができます。

Q27、「亀山賞」ってなんですか？

A27：検定に合格した生徒や、学業と仕事の両立をさせて1年間がんばった生徒に贈られるものです。年度末の授賞式で贈呈されます。

Q28、全国レベルの交流などはありますか？

A28：定時制通信制体育大会や生活体験発表会があります。島根県大会を経て出場となります。詳細は期日が近づいたところで、担当から案内があります。

Q29、学校からのお知らせは、郵送や電話だけですか？

A29：学校だより「亀山通信」が年5回発行されます。また、ホームページもあります。行事や特別活動など学校生活の様子をお知らせします。また、前期・後期のスクーリングの時間割や試験の時間割が掲載されます。台風や大雪時の緊急的な連絡は、携帯メールでお知らせします。携帯メールの登録をお願いいたします。

<費用について>

Q30、1年間にどのくらいのお金が必要ですか？

A30：1単位あたり受講料が330円、教科書代（初年度24単位）が約15,000円程度です。その他、学校徴収金（PTA等諸会費）が約17,000円程度必要です。教科書代は、条件（学業と仕事を両立している等）を満たせば無償申請ができます。また、JR等乗車賃学生割引制度、回数券割引等も利用できます（詳細はP24）。

スクーリング時程表

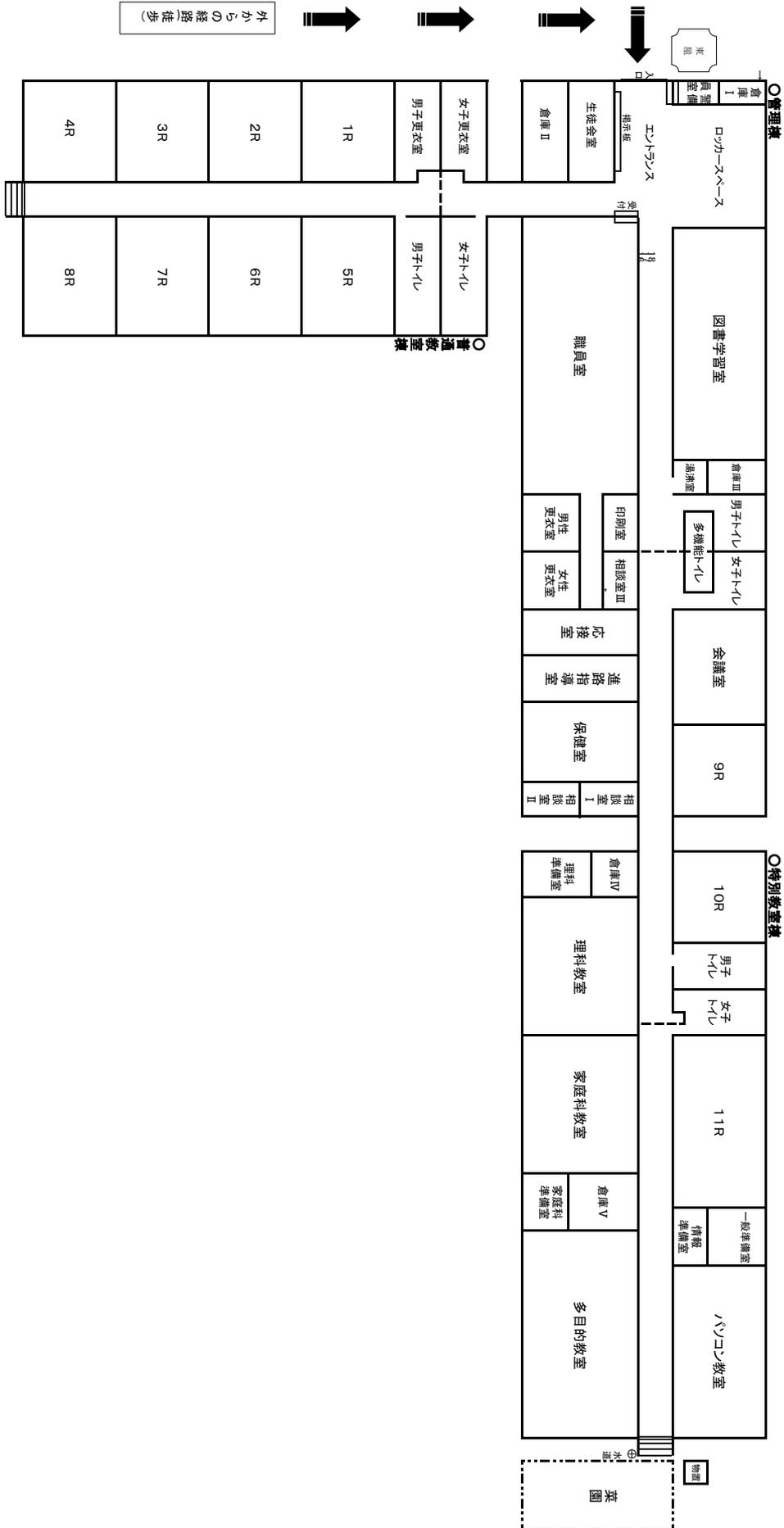
○本校スクーリング(本S・火S) ※浜田

時 限	時 間
1 時 限	8:50～ 9:40
2 時 限	9:50～10:40
3 時 限	10:50～11:40
4 時 限	11:50～12:40
昼 休 み	
5 時 限	13:15～14:05
6 時 限	14:15～15:05
SHR	15:15～15:30

○協力校スクーリング(協S、巡S) ※大田, 益田

時 限	時 間
1 時 限	9:00～ 9:45
2 時 限	9:55～10:40
3 時 限	10:50～11:35
4 時 限	11:45～12:30
清掃・SHR	
昼 休 み	
5 時 限	13:15～14:00
6 時 限	14:10～14:55

校舎配置図



外からの経路徒歩

浜田高等学校定時制・通信制課程 通行経路

